



YAMAHA

PORTATONE

# EZ-J22



取扱説明書



## ごあいさつ

このたびはヤマハポーター用EZ-J22をお買いもとめいただき、まことにありがとうございます。EZ-J22のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、読み終わったあとも、保証書とともに大切に保管して、操作のしかたがわからないときにお読みください。




# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

# 警告

## 電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。  
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。  
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの  
(PA-3B) を使用する。  
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発  
熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを  
きれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。



禁止

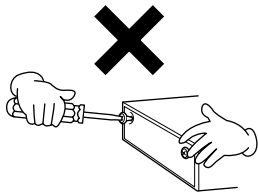
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近  
づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。ま  
た、電源コードに重いものをのせない。  
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因  
になります。

## 分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解した  
り改造したりしない。  
感電や火災、けが、または故障の原因になります。  
異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い  
上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サ  
ービス拠点にご依頼ください。



## 水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置か  
ない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いと  
ころで使用しない。  
感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本体の上にもろそくなど火気のあるものを置か  
ない。  
もろそくなどが倒れたりして、火災の原因になりま  
す。

## 異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、ま  
たは、使用中に音が出なくなったり異常なおいや  
煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、  
電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用し  
ている場合は、乾電池を本体から抜く。)  
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、  
お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製  
品サービス拠点に点検をご依頼ください。

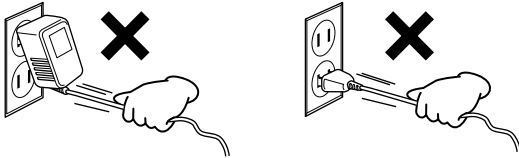
# ⚠ 注意

## 電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



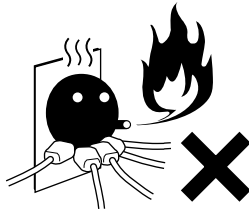
必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



## 乾電池



必ず実行

乾電池はすべて+ / - の極性表示どおりに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。発熱、火災、液漏れの原因になります。



禁止

乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れて破損するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



禁止

乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどなどのおそれがあります。

## 設置



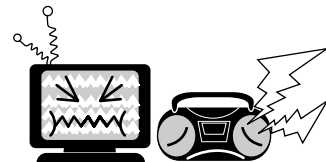
禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

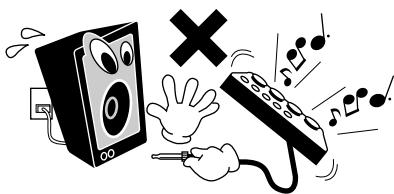
指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

## 接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。感電または機器の損傷の原因になることがあります。



## 手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

## 使用時の注意



ご注意ください

本体のすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルや鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたる原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「切」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

## EZ-J22の特長



### 八長調またはイ短調で「ドレミ」と歌う

八長調またはイ短調のソングを選んでいるとき、ソングのメロディを「ド・レ・ミ…」で歌ってくれます。また、鍵盤(白鍵)を弾くと、「ド・レ・ミ…」と歌います。

「ドレミ」は八長調またはイ短調(自然短音階)で歌います。



### ライトガイド

ソングレッスンをを使うとき、次にどの鍵盤を弾けばいいのかわかるように、鍵盤が光って教えてくれます。ソング再生時にも、どの鍵盤が鳴っているかを確認することができます。



### おしゃべりガイド

各機能のボタンを押したときに、次の操作や状態を人の声でわかりやすく教えてくれます。



### レッスン機能

128曲のソングの中から好みのソングを練習するための機能です。1-2-3と3段階のレッスン機能により、自分のレベルや自分のペースで気軽に練習し、ステップアップすることができます。さらに左手のコード(和音)の練習もできます。



### グランドピアノボタン

ボタン1つでピアノ練習に最適な設定に切り替わる機能です。

## その他の特長

ヒットソングから定番曲まで、128曲のソングを内蔵。

高音質でバラエティ豊かな100の楽器音。  
最大同時発音数は16音。

パネルの設定状況や、コード(和音)、ゆびづかいガイドを一目で確認できる大型ディスプレイ。

ソングブックには、歌詞付きソングもあるので弾きながら歌うこともできます。

マルチパッド機能により、さまざまな効果音が楽しめます。

EZ-J22の可能性を広げるMIDI端子が付いています。

### 音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

# もくじ

演奏の準備	8	ソングを聞くには	31
電源の準備	8	ソングを続けて聞くには	31
・電源アダプターを使うときは	8	好みのソング(1曲)を選んで聞くには	31
・乾電池を使うときは	8	マルチパッド機能を鳴らすには	32
ヘッドフォン/外部出力端子について	8	ソング再生のコントロール	33
サステイン端子について	9	タップスタート	33
MIDI端子について	9	ソングレッスンをするには	34
電源の切/入	9	繰り返し練習のしかた	34
音量の調節	9	自分で伴奏とメロディを弾いてみよう	36
各部の名称	10	伴奏の弾き方	38
フロントパネル	10	ディクショナリーでコードを調べる	40
リアパネル	10	全体設定	42
ディスプレイ	11	全体設定の設定方法	42
はじめましょう!	12	ドレミガイド 入/切	42
1 音を出して遊びましょう	12	チャレンジ 入/切	43
「ドレミ」で弾いてみましょう	12	おしゃべり 入/切	43
好きな楽器で弾いてみましょう	13	トランスポーズ	44
2 ソングを聞いてみましょう	14	チューニング	44
好きなソングを聞いてみましょう	14	ソング/伴奏音量の調整	45
3 ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)	16	メトロノーム音量の調整	45
ソングレッスンをするときの便利な機能	16	MIDI(ミディ)について	46
レッスン1: タイミング	18	MIDIって何?	46
レッスン2: マイペース	20	MIDIを使ってできること	46
レッスン3: カラオケ	22	伴奏リスト	47
基本的な操作方法	24	楽器音リスト	47
楽器を選んで演奏するには	26	ソングリスト	50
八長調またはイ短調で「ドレミ」と歌う	26	故障かな?と思ったら	51
楽器を選ぶ	26	MIDIインプリメンテーションチャート	52
メトロノーム	28	仕様	54
テンポの調整	29	オプション(別売り)商品のご紹介	54
グランドピアノ	29	さくいん	55
タッチレスポンスの入/切	30	保証とアフターサービス	56

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。従って実際の仕様と異なる場合があります。

## 電源切り忘れ防止のために!

電源が「入」の状態、3分間楽器に触れないでいると、「やってみよう!」と楽器がしゃべり、鍵盤のライトガイドがはたります。

電源を切り忘れている場合は、電源を「切」にしてください。

[ライトガイド 入/切] ボタンおよび全体設定の「おしゃべり 入/切」で、この機能をオフにすることもできます。

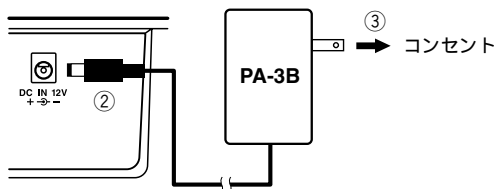
# 演奏の準備

## 電源の準備

EZ-J22は、電源として、電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には付属の電源アダプター PA-3Bをご使用になることをおすすめします。

電源アダプターを使うときは

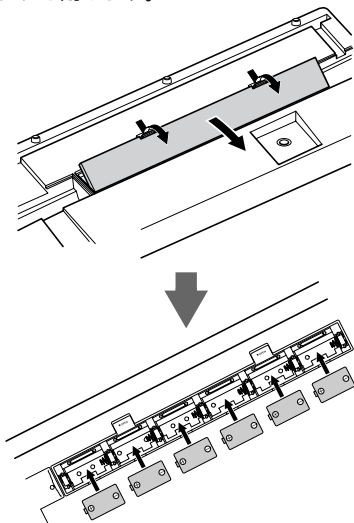
- ① 本体の[電源 切/入]スイッチが「切」になっていることを確認してください。
- ② アダプターのプラグをリアパネルのDC IN 12V(電源アダプター)端子へ差し込みます。
- ③ アダプターの電源プラグを家庭用(100V)コンセントに差し込みます。



- ❗ 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプター PA-3Bをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、十分にご注意ください。
- ❗ 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

乾電池を使うときは

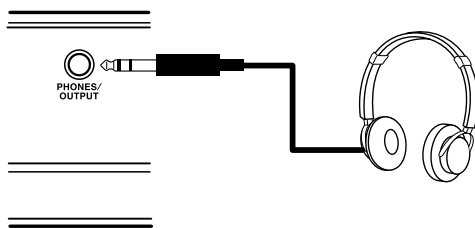
- ① EZ-J22を、柔らかい布などの上で裏返します。電池ボタンをはずします。
- ② 市販の単1乾電池を6本入れます。イラストに合わせて、+/-の向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池ボタンを閉めます。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、ディスプレイの表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

- ❗ 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- ❗ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- ❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。
- メモ 乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。
- 乾電池が入っている状態で、電源アダプターを差し込んだり抜いたりすると、EZ-J22は、電源を入れ直した状態になります。

## ヘッドフォン/外部出力端子について



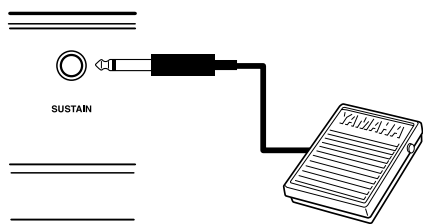
この端子にヘッドフォン(別売り)を接続すると、EZ-J22のスピーカーから音を出さずに練習することができます。

また、この端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、EZ-J22の演奏を外部機器で鳴らすことができます。このときEZ-J22のスピーカーから音は出ません。

- ⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- ❗ EZ-J22を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、電源を切る前や入る前に外部機器の音量を最小にしてください。



## サステイン端子について

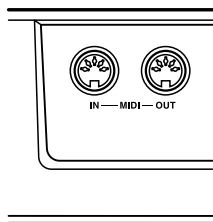


サステインとは、弾いた音に余韻を付け加える機能です。サステイン(SUSTAIN)端子にフットスイッチ(FC4またはFC5：別売)を接続すると、サステインのオン/オフ操作をフットスイッチで行なえます。



- ・サステイン(SUSTAIN)端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。フットスイッチを踏みながら電源を入れないでください。踏みながら電源を入れるとオン/オフが逆になります。

## MIDI端子について



MIDIケーブルを使って外部機器に接続することにより、EZ-J22の演奏を録音/再生することができます。詳細は46ページを参照してください。

「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

## 電源の切/入

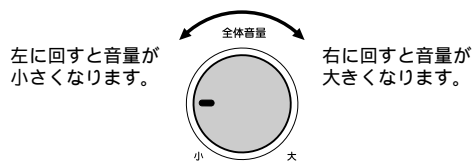
[電源 切/入]スイッチを「入」にすると、電源が入ります。「切」にすると、電源が切れます。



- ・電源スイッチが「切」の状態でも、微電流が流れています。EZ-J22を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。

## 音量の調節

[全体音量]コントロールを回します。

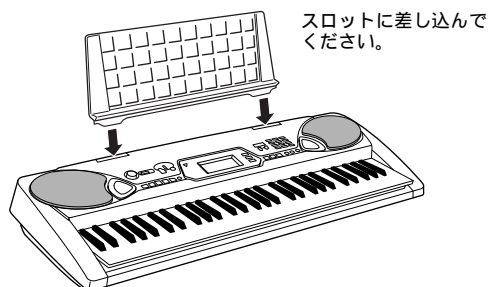


## 付属品について

EZ-J22の付属品を確認してください。

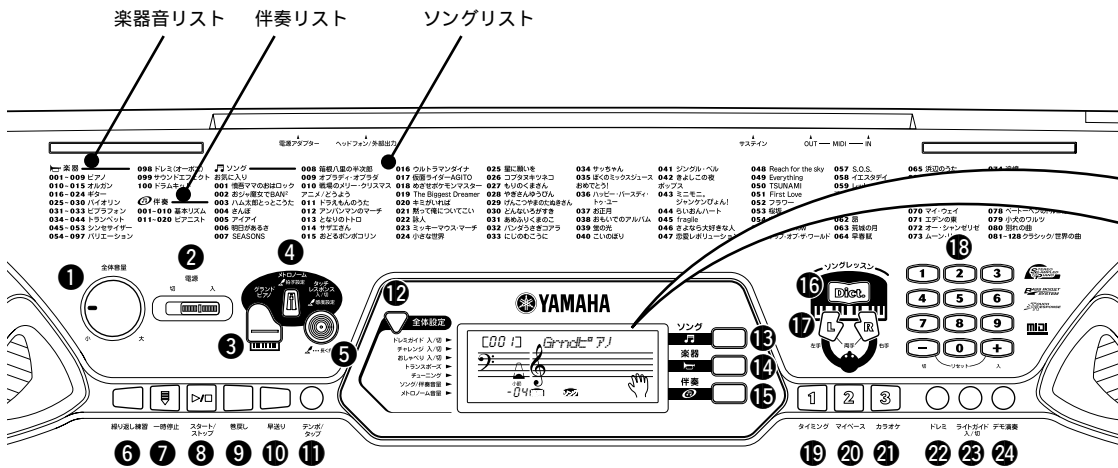
- 電源アダプター PA-3B
- 譜面立て
- 取扱説明書
- ソングブック
- 保証書

## 譜面立ての取り付け方



# 各部の名称

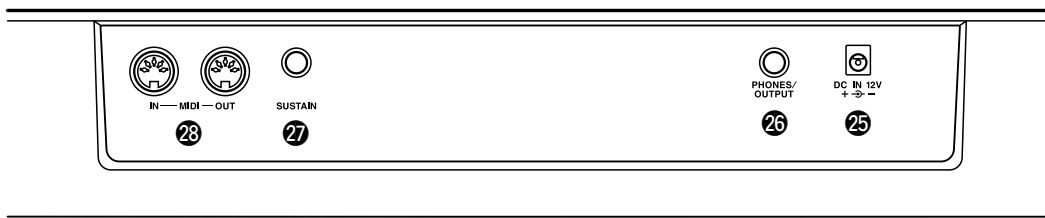
## フロントパネル



- 1 [全体音量]コントロール..... 9 ページ
- 2 [電源切/入]スイッチ ..... 9 ページ
- 3 [グランドピアノ]ボタン ..... 29 ページ
- 4 [メトロノーム]ボタン ..... 28 ページ
- 5 [タッチレスポンス入/切]ボタン ..... 30 ページ
- 6 [繰り返し練習]ボタン ..... 33 ページ
- 7 [一時停止]ボタン ..... 33 ページ
- 8 [スタート/ストップ]ボタン ..... 33 ページ
- 9 [巻戻し]ボタン ..... 33 ページ
- 10 [早送り]ボタン ..... 33 ページ
- 11 [テンポ/タップ]ボタン ..... 29, 33 ページ
- 12 全体設定[ ]ボタン ..... 42 ページ

- 13 [ソング]ボタン ..... 24, 31 ページ
- 14 [楽器]ボタン ..... 13 ページ
- 15 [伴奏]ボタン ..... 24, 36 ページ
- 16 [Dict.](デクシオナリー)ボタン ..... 40 ページ
- 17 ソングレッスン[L], [R]ボタン ..... 19 ページ
- 18 数字[0] ~ [9], [+], [-]ボタン ..... 24 ページ
- 19 [1 タイミング]ボタン ..... 18 ページ
- 20 [2 マイペース]ボタン ..... 20 ページ
- 21 [3 カラオケ]ボタン ..... 22 ページ
- 22 [ドレミ]ボタン ..... 25, 26 ページ
- 23 [ライトガイド入/切]ボタン ..... 12, 25 ページ
- 24 [デモ演奏]ボタン ..... 31 ページ

## リアパネル



- 25 電源アダプター (DC IN 12V) 端子 ..... 8 ページ
- 26 ヘッドフォン/外部出力 (PHONES/OUTPUT) 端子 ..... 8 ページ

- 27 サステイン(SUSTAIN)端子 ..... 9 ページ
- 28 MIDI IN/OUT 端子 ..... 9, 46 ページ

## ディスプレイ

## 数字表示

楽器の番号やソングの番号、各機能の設定値などを表示します。

## SG表示

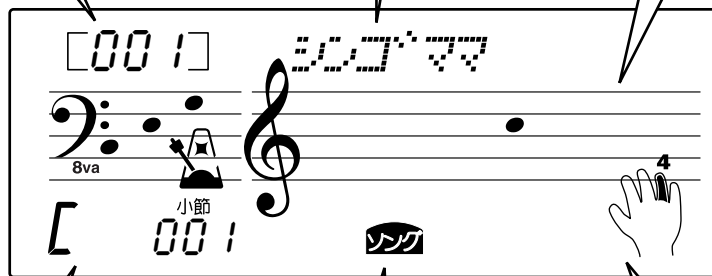
ソングを選んで[楽器]ボタンを押したとき、「SG」が表示されます。

## 文字表示

楽器名やソング名、設定中の機能名などを表示します。

## おんぷガイド

ガイドのメロディ、コード、弾いている音程などを表示します。オクターブ上や下の音を表示する場合は、五線譜の上下に「8va」を表示します。



## コード表示

ソングで使われているコードや、鍵盤で押さえたコード名を表示します。



## テンポ/小節表示

伴奏のときはテンポを、ソングのときは再生中のソングの小節番号を表示します。

124 小節 001

## メトロノーム表示

ソング/伴奏の演奏中は、設定されたテンポに合わせてメトロノームのアイコンが点滅します。



## 楽器

[楽器]ボタンを押したときに点灯します。

## 伴奏

[伴奏]ボタンを押したときに点灯します。

## ソング

[ソング]ボタンを押したときに点灯します。

## ドレミ

[ドレミ]ボタンを押したときに点灯します。



## 右手/左手/両手ガイド

ソングレッスン時、レッスンに選ばれている手を表示します。

## ゆびづかいガイド

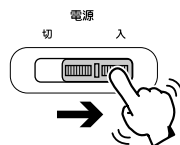
鍵盤を弾くときの指使い例を表示します。指くぐりも矢印によって表示します。



# はじめましょう！



ようこそいらっしゃいました！  
これからあなたをEZ-J22の音の世界にご案内いたします。  
さあ、[電源 切/入]スイッチを「入」にして出発しましょう。



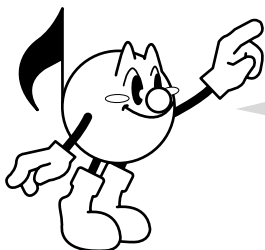
## 1 音を出して遊びましょう

まず、鍵盤を弾いて音を出して遊びましょう。  
EZ-J22には、いろいろな音が100種類も入っています。  
最初は、とてもゆかいな「ドレミ」の声で弾いてみましょう。

### 「ドレミ」で弾いてみましょう

#### 1 [ドレミ]ボタンを押します。

おしゃべりガイドが、「ドレミで歌います」と機能を教えてくれます。



おしゃべりガイドとは、ボタンを押したときに「その機能」や「次に何をすればいいの？」を教えてくれる機能なんだよ。  
くわしくは43ページを見てね。




八長調またはイ短調のソングが選ばれているとき、鍵盤(白鍵)を弾くと、「ド・レ・ミ...」で歌ってくれます。  
黒鍵を弾くとオーボエの音で鳴ります。

「ドレミ」は八長調またはイ短調(自然短音階)で歌います。

#### 2 鍵盤を押さえましょう。

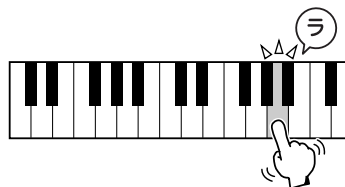
人の声で「ド・レ・ミ...」と歌ってくれます。黒鍵を弾いた場合はオーボエの音で鳴ります。

それと同時に、押した鍵盤が光ります。(ライトガイド機能)  
ディスプレイの五線譜にも、押した鍵盤の音程が表示されます。(おんぷガイド機能)

音量は[全体音量]コントロール  で調節します。

ライトガイドとは、弾いた鍵盤を光で教えてくれる機能だよ。

[ライトガイド 入/切]ボタンを押すと、ライトガイドを「切」にすることができるよ。



#### 健康上の注意

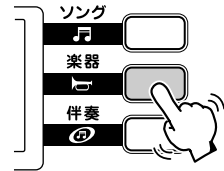
長時間光を直視して演奏し続けると、目の疲労、肩こりなどの原因になる場合があります。健康のため、1時間に10分程度の休憩を取ることをおすすめします。  
また鍵盤のライトガイドを下から直接見ると、強い(あるいは明るい)光が見える場合がありますので、この角度で直視するのは避けてください。

## 好きな楽器で弾いてみましょう

100種類のいろいろな楽器の中から、自分の好きな楽器を選んで弾いてみましょう。

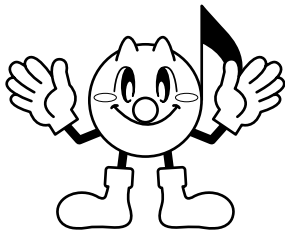
### 1 [楽器] ボタンを押します。

おしゃべりガイドが、「数字ボタンで選んでね」と次の操作を教えてください。

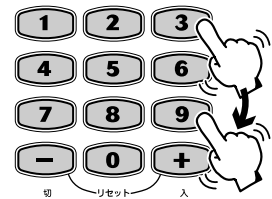


### 2 好きな楽器の番号を [数字ボタン] を使って選びます。

例) 楽器番号「39」番の「アルトサクソ」を選ぶには、「3」「9」と押します。



楽器の選びかたはこのほかに、数字ボタンの[+]/[-]ボタンを押して選ぶ方法があるよ。  
くわしくは24ページを見てね。  
「1」～「10」の楽器を選ぶときは、数字ボタンを押すと、しばらく点滅してから楽器が決まるよ。



[039] アルトサクソ

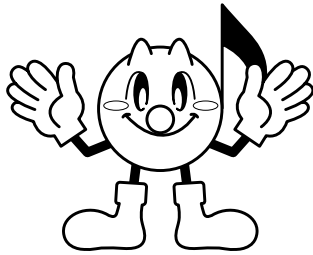


EZ-J22を一瞬にしてグランドピアノにしてしまう[グランドピアノ]ボタンがあります。  
このボタンを押すと、ピアノの練習にピッタリな設定になってくれるよ。  
くわしくは29ページを見てね。

## 2

## ソングを聞いてみましょう

EZ-J22には、ヒットソングから定番曲までいろいろなソングが128曲入っています。128曲のうち113曲はより弾きやすくするため、八長調またはイ短調になっています。残り15曲は八長調(イ短調)以外の曲です。好きなソングを選んで聞いてみましょう。



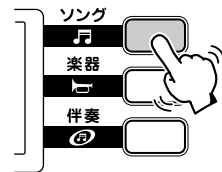
EZ-J22には、ソングブックがあるんだよ。  
歌詞付きの曲もあるので、みんなと一緒に歌ってみてね。

## 好きなソングを聞いてみましょう

128曲のいろいろなソングの中から、自分の好きなソングを選んで聞いてみましょう。

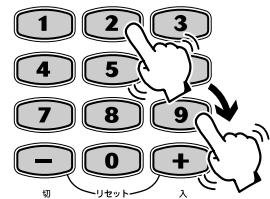
## 1 [ソング] ボタンを押します。

おしゃべりガイドが、「数字ボタンで選んでね」と次の操作を教えてください。



## 2 好きなソングの番号を[数字ボタン]を使って選びます。

例) ソング番号「29」番の「げんこつやまのためきさん」を選ぶには「2」「9」と押します。

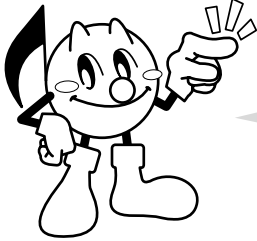


ソングの選びかたはこのほかに、数字ボタンの[+]/[-]ボタンを押して選ぶ方法があるよ。  
くわしくは24ページを見てね。  
「1」～「12」のソングを選ぶときは、数字ボタンを押すと、しばらく点滅してからソングが決まるよ。

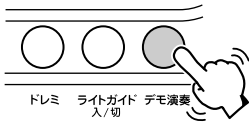


[029] ゲンコツヤマ

**3** [スタート/ストップ]ボタンを押すと、ソングがスタートします。



途中でソングを止める場合は、[スタート/ストップ]ボタンまたは[一時停止]ボタンを押すんだよ。  
[一時停止]ボタンで止めると、止めた位置(小節)で止まっているよ。  
もう一度[一時停止]ボタンを押すと、そこからまたスタートするよ。



[デモ演奏]ボタンを押すと、001番～010番のソングを続けて聞くことができるよ。  
[デモ演奏]ボタンを押したあとで、聞きたいソングの番号を選ぶと、そのグループのソングを続けて聞くことができるよ。グループとソング番号については50ページの『ソングリスト』を見てね。

### 3

## ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

### ソングレッスンをするときの便利な機能

128曲の中から好きなソングを選んで練習しましょう。  
EZ-J22には、3段階のレッスン機能が付いています。自分のレベルに合わせて、少しずつ練習していきましょうね。

#### テンポ(速さ)/タップ

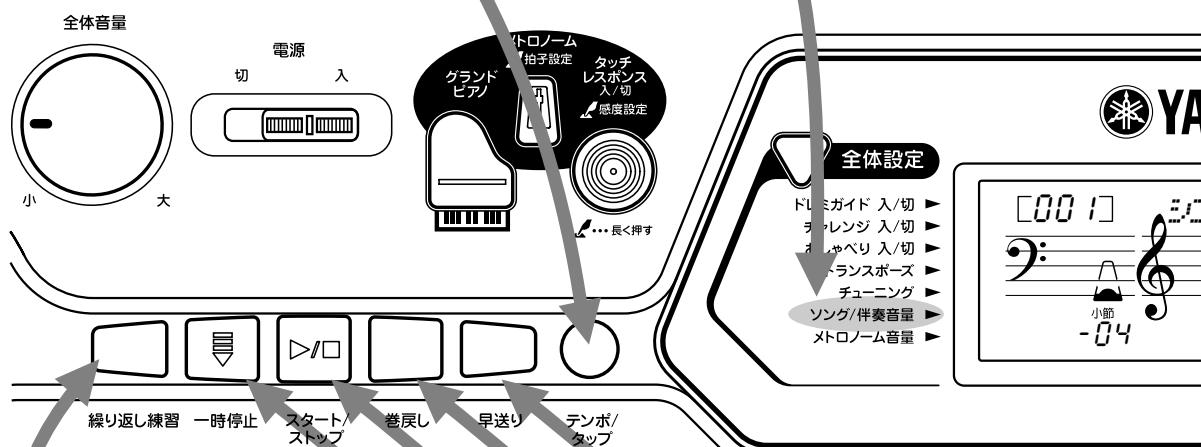
ソングを弾きやすいテンポに設定できます。( 29, 33ページ)

[ 162 ] テンポ

#### ソング/伴奏音量

ソング/伴奏の音量を変更して、弾く音とのバランスを調整します。( 45ページ)

[ 110 ] ソング/伴奏



#### 繰り返し練習

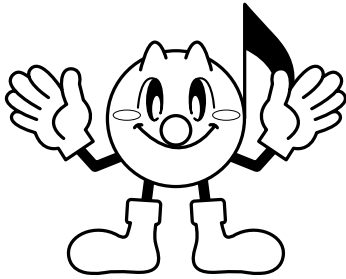
ソングのある部分だけを指定して、繰り返し再生します。( 33, 34ページ)

[ R- ] くりかえし

#### [一時停止]、[スタート/ストップ]、 [巻戻し]、[早送り]ボタン

ソングをカセットテープ感覚で操作することができます。( 33ページ)

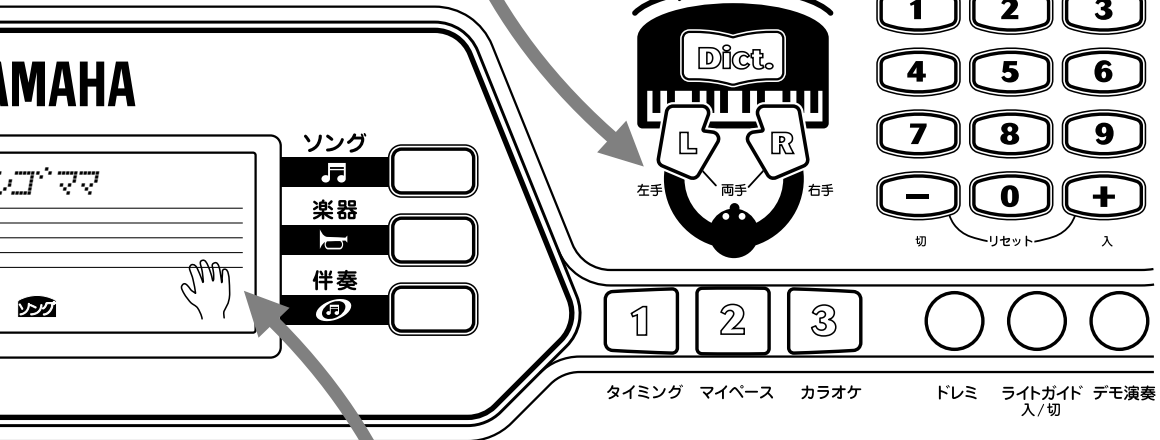




これらは、練習をするときに、  
いろいろ役立つ機能だよ。

### 右手/左手/両手ガイド

右手/左手/両手のうち、どの練習をするかを決めます。



### ゆびづかいガイド

どの指で押さえるかを、ディスプレイに表示します。( 11ページ)



### おんぷガイド

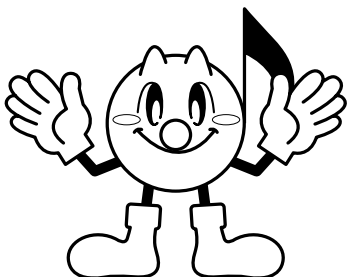
音符を表示します。( 11ページ)



### 3 ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

## レッスン1：タイミング

「鍵盤を弾くタイミング」を練習しましょう。



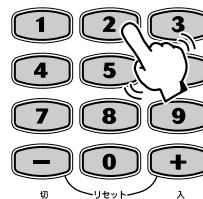
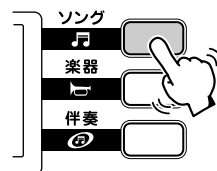
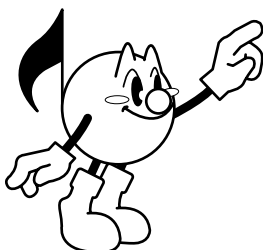
ライトガイドが点灯しますが、レッスン1ではどの鍵盤を弾いてもかまいません(マルチパッド機能以外の鍵盤)。メロディのリズムに合わせて鍵盤を弾きましょう。

### 1 好きなソングを選びます。

ソングボタンを押し、数字ボタンで選びます。

( 24ページ)

例) ここではソング番号29番「げんこつやまのたぬきさん」を選んで、右手でレッスンしてみましょう。



### 2 [1 タイミング]ボタンを押します。

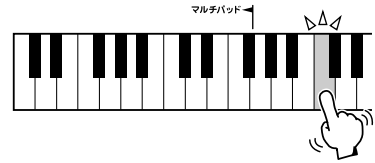
ソングがスタートし、鍵盤のライトガイドが点灯します。



### 3 どこでも弾きやすい場所の鍵盤を弾きます (マルチパッド機能以外の鍵盤)。

演奏するタイミングでライトガイドが点灯します。鍵盤を弾いてみましょう。

マルチパッド機能鍵盤( 32 ページ)



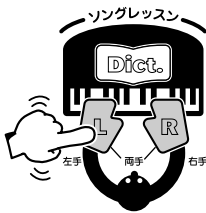
- ・レッスンを止めるときは[スタート/ストップ]ボタンを押します。
- ・[一時停止]ボタンを押すと、その位置で一時停止します。もう一度[一時停止]ボタンを押すと、そこからまたスタートします。
- ・レッスンの途中で[1 タイミング]ボタンを押すと、レッスンを終了して通常のソング再生になります。



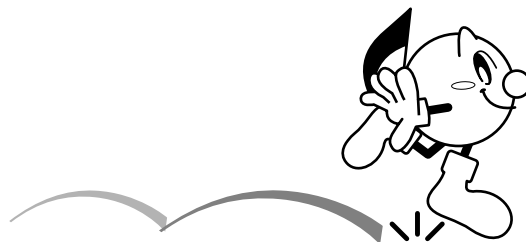
右手/左手/両手を練習する場合

ソングレッスン[L]、[R]ボタンで、練習したいほうの手または両手を選びます。

- ・左手のレッスンをする場合  
[L](左手)ボタンを押します。  
左手の演奏がコードタイプのソングとメロディタイプのソングがあります。  
50ページの『ソングリスト』を参照してください。  
マルチパッド対応のソングは、左手レッスンではコードをガイドします。
- ・右手のレッスンをする場合  
[R](右手)ボタンを押します。  
右手ではメロディをレッスンします。
- ・両手のレッスンをする場合  
[L]、[R](両手)ボタンをいっしょに押します。  
右手、左手で弾けるようになったら、両手でレッスンしてみましょう。

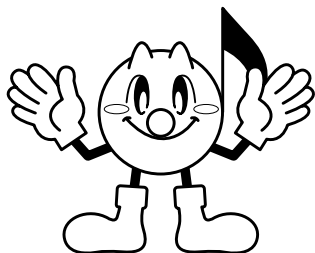


ソングのテンポどおりに鍵盤を弾けるようになったら、次のレッスン2に進みましょう！



## レッスン2：マイペース

レッスン2では、正しい鍵盤が押されるまで、伴奏が待ってくれます。  
音符表示のとおり正しく鍵盤を弾く練習をしましょう。  
ライトガイドとディスプレイのゆびづかいガイドを見ながら、自分の弾ける速さで弾きましょう。



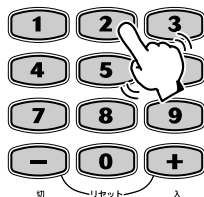
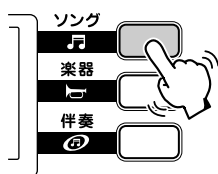
ゆびづかいガイドは、



スムーズに演奏するためのガイドだよ。

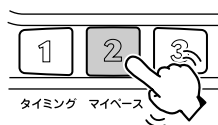
### 1 好きなソングを選びます。

ソングボタンを押し、数字ボタンで選びます。( 24ページ)

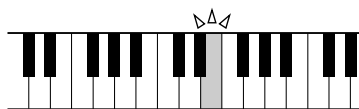


### 2 [2 マイペース]ボタンを押します。

ソングがスタートすると、最初に弾く鍵盤のライトガイドが点灯します。あとに続くように弾いてみましょう。  
ディスプレイには、その鍵盤をどの指で弾くかが表示されます。



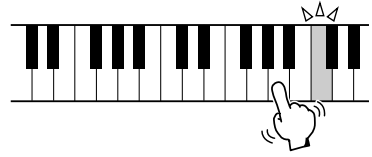
タイミング マイペース



### 3 正しい(音符どおりの)鍵盤を弾きます。

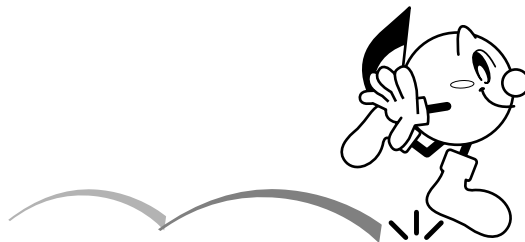
正しい鍵盤を弾くと、次に弾く鍵盤のライトガイドが点灯します。

ライトガイドのとおり鍵盤を弾いて、ソングを進めていきましょう。



- ・レッスンを止めるときは[スタート/ストップ]ボタンを押します。  
[一時停止]ボタンを押すと、その位置で一時停止します。もう一度[一時停止]ボタンを押すと、そこからまたスタートします。
- ・レッスンの途中で[2マイペース]ボタンを押すと、レッスンを終了して通常のソング再生になります。
- ・左手をレッスンする場合は、ソングレッスン[L](左手)ボタンを押して左手ガイドを選びます。同様に両手をレッスンする場合は[L](左手)、[R](右手)ボタンをいっしょに押して、両手ガイドを選びます。( 19ページ)  
左手をレッスンする場合、選ぶソングによりコードタイプのソングとメロディタイプのソングがあります。( 50ページ)  
マルチパッド対応のソングは、左手レッスンではコードをガイドします。
- ・八長調またはイ短調のソングが選ばれているとき、[ドレミ]ボタンを押すと「ドレミ」でガイドします。このとき、弾いた音も「ドレミ」で歌います。  
レッスン2(マイペース)でガイドを「ドレミ」以外にしたいとき(楽器でガイドしたいとき)は、全体設定の「ドレミガイド入/切」を「切」にします。この場合でも、弾く音は「ドレミ」で歌います。
  - \* 黒鍵はオーボエの音で鳴ります。
  - \* 八長調(イ短調)以外のソングは、オーボエの音で鳴ります。(どのソングが「ドレミ」で歌ってくれるかは、50ページの『ソングリスト』を参照してください。)
  - \* 「ドレミ」は八長調またはイ短調(自然短音階)で歌います。

正しく弾けるようになったら、次のレッスン3に進みましょう。



### 3 ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

## レッスン3：カラオケ

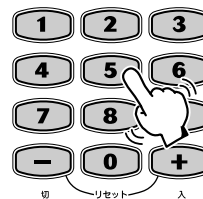
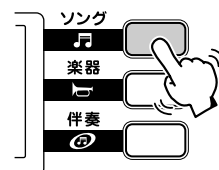
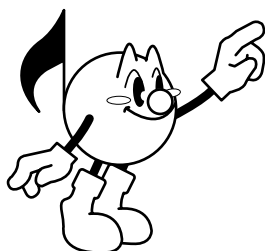
ライトガイドと伴奏は、カラオケのようにテンポどおりに進んでいきます。  
伴奏に合わせて音符どおりに弾いてみましょう。



最初はテンポを少し下げたほうが  
弾きやすいよ。( 29ページ)

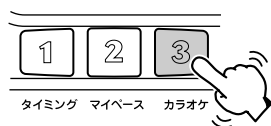
### 1 好きなソングを選びます。

ソングボタンを押し、数字ボタンで選びます。( 24ページ)



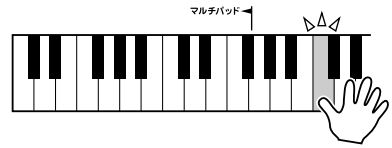
### 2 [3 カラオケ] ボタンを押します。

ソングがスタートします。



### 3 鍵盤を弾きます。

レッスン3では伴奏は待ってくれません。  
レッスン1、2で練習したとおりに、伴奏に合わせて弾いていきましょう。



- ・レッスンを止めるときは[スタート/ストップ]ボタンを押します。  
[一時停止]ボタンを押すと、その位置で一時停止します。もう一度[一時停止]ボタンを押すと、そこからまたスタートします。
- ・レッスンの途中で[3カラオケ]ボタンを押すと、レッスンを終了して通常のソング再生になります。
- ・左手をレッスンする場合は、ソングレッスン[L](左手)ボタンを押して左手ガイドを選びます。同様に両手をレッスンする場合は[L](左手)、[R](右手)ボタンをいっしょに押して、両手ガイドを選びます。( 19ページ)

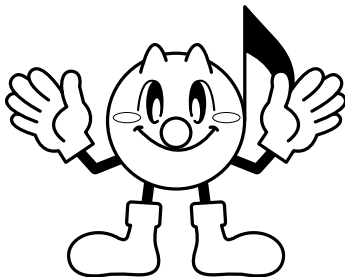


#### ソングレッスン(1, 2, 3)の変更

曲の途中でも、ソングレッスン(1, 2, 3)を変更することができます。

#### ソングレッスンの採点(チャレンジ機能)

1曲の終わりまでレッスンすると、EZ-J22があなたのレッスン結果を採点します。  
その結果は4段階で表示されます。( 43ページ)



うまく弾けるようになったかな？  
まだまだたくさんソングがあるから  
チャレンジしてみてね。

# 基本的な操作方法

## 長く押す

この機能の付いたボタンを1秒以上押し続けると、そこに書かれた別機能の設定に移ります。

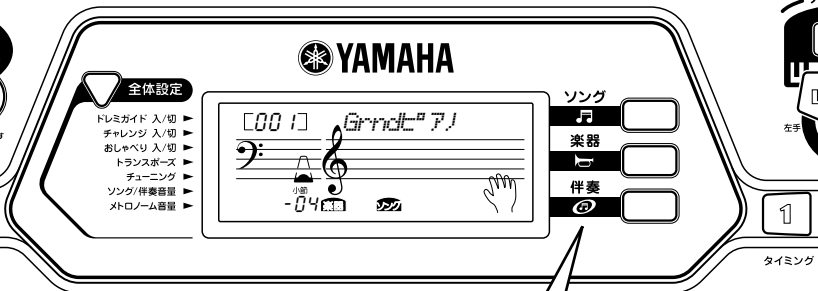
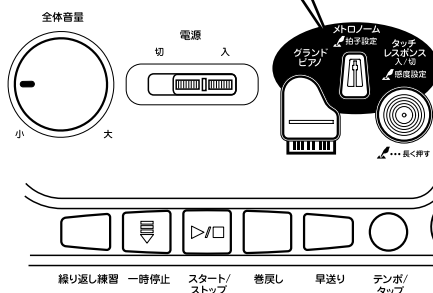
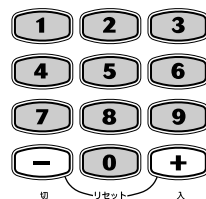


## 楽器やソングの選びかた

楽器やソングを選ぶには、次の2つの方法があります。

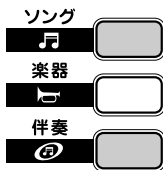
### 数字ボタンで選ぶ

数字ボタン[0]~[9]で、楽器やソングの番号を指定します。



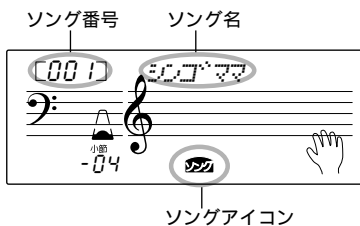
## モードの選びかた

[ソング]/[伴奏]それぞれのボタンを押して、ソングモード/伴奏モードに入ります。



### ソングモード

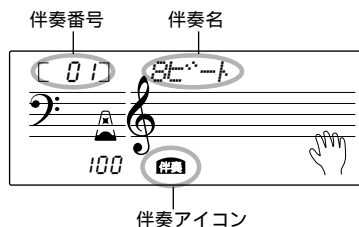
[ソング]ボタンを押すとソングモードとなり、128種類のソングから好みのソングを選んで、レッスンをしたり聞いたりすることができます。



### 伴奏モード

[伴奏]ボタンを押すと伴奏モードになります。20種類の伴奏から好みの伴奏を選び、伴奏に合わせて右手でメロディを弾くことができます。

[伴奏]ボタンを押して、左手で伴奏鍵盤を押すと伴奏がすぐに始まります。

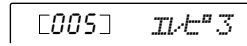




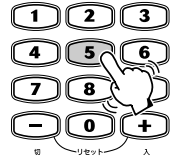


- 「100の位」「10の位」「1の位」の順番で、数字ボタンを続けて3つ押せば、すぐに番号が確定します。1桁の番号の場合は先頭に「00」を、2桁の番号の場合は「0」を付けます。
- 先頭に付く「00」や「0」は省略できますが、決定するまでに時間がかかる場合があります。

例) 「5 エレビ3」を選ぶ場合

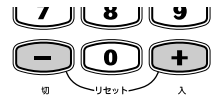


数字ボタンの[5]を押すと、番号が点滅します。しばらくすると、番号が通常表示に変わり確定されます。数字ボタンを「0」「0」「5」と押すと、すぐに番号が確定します。

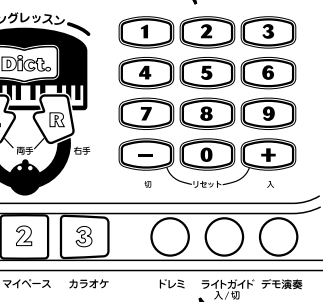
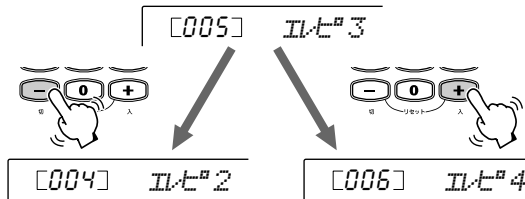


[+]/[-]ボタンで選ぶ

現在選ばれている番号の前または後に1つずつ進みます。  
[+]ボタンを押すと、番号が1つ進み、[-]ボタンで1つ戻ります。ボタンを押し続けると、連続的に番号が増減します。



例) 楽器番号「5」番の「エレビ3」が選ばれている状態で、[-]ボタンを押すと「4」番の「エレビ2」が選ばれます。  
[+]ボタンを押すと「6」番の「エレビ4」が選ばれます。



ドレミボタン

ソングモードで[ドレミ]ボタンを押すと、八長調またはイ短調のソングが選ばれているときは、メロディをドレミで歌います。また鍵盤(白鍵)を弾いたときに、ドレミで歌います。  
伴奏モードで[ドレミ]ボタンを押すと、鍵盤(白鍵)を弾いたときに、ドレミで歌います。  
黒鍵を押した場合は、オーボエの音で鳴ります。



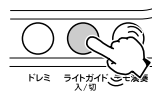
ドレミアイコン



- [ドレミ]ボタンを押した状態は、[楽器]ボタンで98番の「ドレミ(オーボエ)」を選んだときと同じです。
- 八長調(イ短調)以外のソングを選んでいる場合は、オーボエの音で鳴ります。
- 「ドレミ」は八長調またはイ短調(自然短音階)で歌います。

ライトガイド入/切ボタン

鍵盤のライトガイドをやめたいときは、このボタンを押して「切」にします。



# 楽器を選んで演奏するには

## 八長調またはイ短調で「ドレミ」と歌う

八長調またはイ短調のソングを選んでいるとき、[ドレミ]ボタンを押すと、ソングのメロディを「ド・レ・ミ」で歌ってくれます。また、鍵盤(白鍵)を弾くと八長調(イ短調)で「ド・レ・ミ...」と歌ってくれます。

黒鍵を弾いた場合は、「ド・レ・ミ...」と歌わずに、オーボエの音で鳴ります。



- ・[ドレミ]ボタンを押した状態は、[楽器]ボタンを押して98番「ドレミ(オーボエ)」を選んだときと同じです。
- ・八長調(イ短調)以外のソングを選んでいる場合は、オーボエの音で鳴ります。
- ・トランスポーズが「0」以外に設定されている場合は、「ドレミ」でなく「オーボエ」の音で鳴ります。(表示は「098(オーボエ)」となります。)
- ・「ドレミ」は八長調またはイ短調(自然短音階)で歌います。

## 楽器を選ぶ

EZ-J22には、先進のAWM(アドバンスト・ウェーブ・メモリー)音源を利用した高品質な100種類の楽器音が入っています。その中には、27ページのように効果付きの音も含まれます。

### 1 [楽器]ボタンを押します。

楽器アイコンが表示され、楽器音を選べる状態になります。

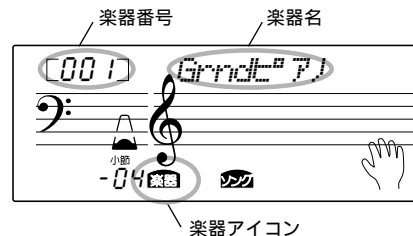
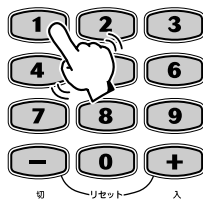


- ・このときメロディ音色はソングに設定されている楽器になります。



### 2 楽器を選びます。

楽器の選びかたは24ページを参照してください。



- ・ソングや伴奏を切り替えると、楽器もそのソングや伴奏に合ったものに自動的に切り替わりま
- ず。ソングでは、このとき「SG」が表示されます。

- ・ハーモニー (54 ~ 63)  
演奏した音に加え、1 ~ 2音のハーモニー音が自動的に付きます。



・ハーモニーで効果がかかるのは1音だけです。2つ以上の鍵盤を押さえると、いちばん高い音、または最後に押さえられた音に対してハーモニー音が付けられます。

- ・スプリット (64 ~ 73)  
C3(下から3番目のCの鍵盤)より右の鍵盤で一つの音色、B2より左の鍵盤でもう一つの音色が演奏できます。
- ・サステイン (74 ~ 78)  
鍵盤から手を離れたとき、余韻が残る音色です。
- ・エコー (79 ~ 88)  
エコー (こだま効果)がかかった音色です。

- ・デュアル (89 ~ 97)  
鍵盤を弾くと2つの楽器音が重なって鳴ります。
- ・ドレミ (98)  
八長調またはイ短調のソングが選ばれている場合、鍵盤(白鍵)を弾くと「ド・レ・ミ」と歌ってくれます。それ以外のソングが選ばれている場合は、オーボエで鳴ります。  
黒鍵を弾いた場合は、「ド・レ・ミ...」と歌わずに、オーボエの音で鳴ります。
- ・サウンドエフェクト (99)  
鍵盤を押すと、ライオン、モンキー、小鳥、いぬ、ねこの鳴き声や女の人の声が鳴ります。
- ・ドラムキット (88, 100)  
鍵盤を弾くと、いろいろなドラムサウンドが鳴ります。

### サウンドエフェクトリスト (楽器音番号 : 99)

### ドラムキット (楽器音番号 : 88、100)



・「\*」印の付いている楽器音は、同じ数字が付いている楽器音どうし、同時に鳴らすことはできません。



・「サウンドエフェクト」、「ドラムキット」はトランスポーズできません。

## メトロノーム

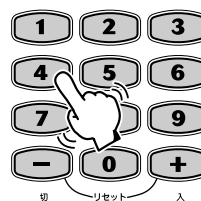
[メトロノーム]ボタンを押すと、メトロノームが鳴ります。ピアノやソングの練習に活用してください。メトロノームは1拍目に高い音が鳴ります。もう一度押すと、メトロノームの音が止まります。



- ・メトロノームの速さは選ばれているソングや伴奏に合ったテンポになっています。速さを変えるには、[テンポ/タップ]ボタンを押し、数字ボタンで調整します。( 29 ページ)
- ・メトロノームの音量は、全体設定の「メトロノーム音量」で調整します。( 45 ページ)

### メトロノームの拍子の設定

[メトロノーム]ボタンを1秒以上押し続けると、メトロノームの拍子設定画面になります。数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押して、拍子を設定します。2拍子にしたいときは数字ボタンの[2]を、3拍子にしたいときは数字ボタンの[3]を押します。



[ 4 ]



- ・拍子を[0]に設定すると、高い音が鳴らない状態になります。
- ・拍子の設定は、メトロノーム機能が「オン」の状態でも行なうことができます。
- ・ソングの再生中は拍子を変更できません。
- ・ソングを変更すると、自動的にそのソングに合った拍子に切り替わります。

数字ボタン	拍子	数字ボタン	拍子
1	1/4 (すべて高い音)	6	6/4
2	2/4	7	7/4
3	3/4	8	8/4
4	4/4	9	9/4
5	5/4	0	- (高い音が鳴らない状態)

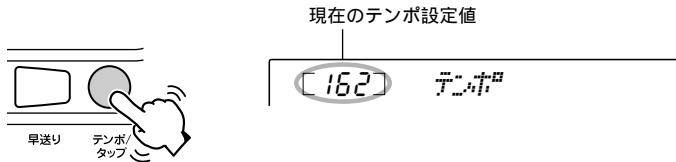
### メトロノームの表示について

ソング/伴奏の演奏中は、設定されたテンポに合わせてメトロノームのアイコンが点滅します。



## テンポの調整

ソング、伴奏、メトロノームのテンポ【♩ = 40 ~ 240(1分間の4分音符の数)】を調整します。  
数字ボタン[0] ~ [9]、[+]、[-]を押して設定します。



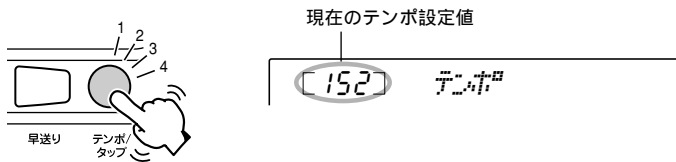
ソング/伴奏の演奏中は、設定されたテンポに合わせてメトロノームアイコンが点滅します。( 28ページ)



・ソングや伴奏を選ぶと、自動的に最適なテンポに設定されます。

## タップ機能

自分の感覚で自由にテンポを設定できます。  
4拍子なら4回、3拍子なら3回、弾きたいテンポで[テンポ/タップ]ボタンを押します。ボタンを押したタイミングでリズムがスタートします。



ソング/伴奏の演奏中は、設定されたテンポに合わせてメトロノームアイコンが点滅します。( 28ページ)



・ソングや伴奏の再生中に[テンポ/タップ]ボタンを押してテンポを変えることもできます。

## グランドピアノ

EZ-J22はさまざまな機能を持っていますが、「とにかくピアノの練習をしたい」というときには、[グランドピアノ]ボタンを押します。



[グランドピアノ]ボタンを押すと、EZ-J22のすべての設定がピアノ演奏用にワンタッチで切り替わります。



・ソングレッスン中に[グランドピアノ]ボタンを押すと、ソングレッスンは解除されます。

### グランドピアノで設定される機能

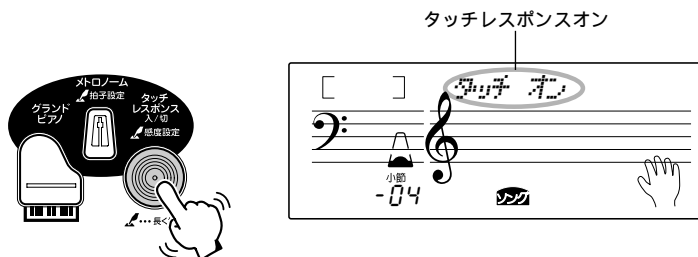
- ・楽器 ..... 1 グランドピアノ
- ・ソング ..... 75 「エリーゼのために」
- ・伴奏 ..... 11 コンチェルト

## タッチレスポンスの入/切

鍵盤を弾く強さで音量を変える機能がタッチレスポンスです。

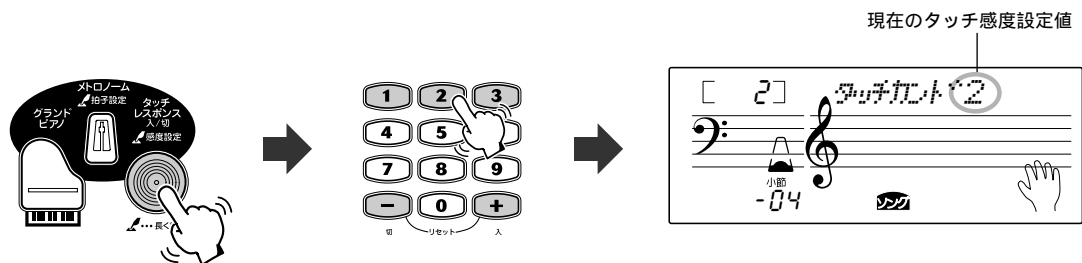
[タッチレスポンス 入/切] ボタンを押してタッチレスポンスをオンにすると、鍵盤を弾く強弱で微妙なニュアンスを表現することができます。

[タッチレスポンス 入/切] ボタンを押して、タッチレスポンスをオフにすると、鍵盤を弾く強弱に関係なく、一定の音量で演奏できます。



## タッチ感度の設定

[タッチレスポンス 入/切] ボタンを1秒以上押し続けると、タッチ感度設定画面になります。数字ボタン[1]~[3]、[+]、[-]を押して、タッチ感度を設定します。



- ・「タッチカンド1」はタッチ感度が鈍くタッチの強弱による音量の差はあまりありません。「タッチカンド2」は感度が中くらい。「タッチカンド3」は感度が鋭く、ダイナミックレンジが広がるので豊かな表現ができます。この場合、大きな音量がほしいときに強く弾く必要があります。
- ・電源を入れたとき、タッチレスポンスは「オン」、タッチ感度は「2」になっています。

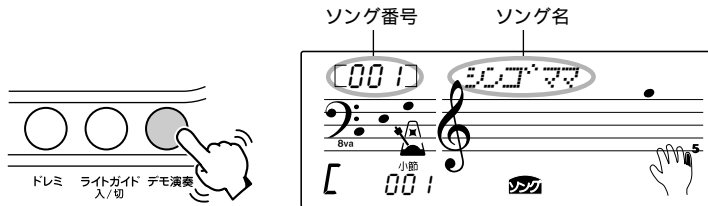
# ソングを聞くには

## ソングを続けて聞くには

[デモ演奏]ボタンを押します。

001番のソングが自動的に演奏されます。001番が終了すると引き続き002～010番のソングが演奏されます。

また、[デモ演奏]ボタンを押したあとで、聞きたいソングの番号を選ぶと、そのグループのソングが連続して演奏されます。

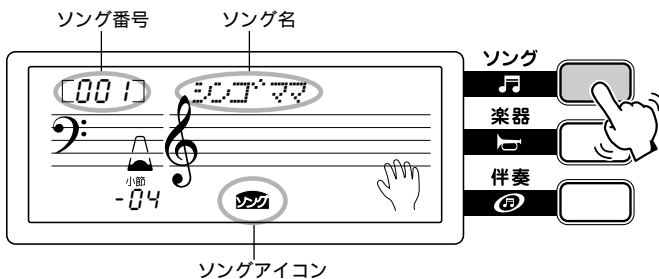


- ・グループとソング番号については、『ソングリスト』(50ページ)を参照してください。
- ・演奏を途中で止める場合は、[スタート/ストップ]または[デモ演奏]ボタンを押します。
- ・128曲のソングのうち、113曲はより弾きやすくするために八長調またはイ短調になっています。残りの15曲は八長調(イ短調)以外の曲です。

## 好みのソング(1曲)を選んで聞くには

### 1 [ソング]ボタンを押します。

ソングアイコンが表示され、ソングモードになります。



### 2 ソングを選びます。

ソングの選びかたは24ページを参照してください。

### 3 [スタート/ストップ]ボタンを押します。

演奏がスタートします。



- ・演奏を途中で止める場合は、[スタート/ストップ]または[一時停止]ボタンを押します。



ソングのメロディ音色を変えるには

ソングを選んだあとで、[楽器]ボタンを押して楽器を選ぶと、ソングのメロディ音色を100種類の楽器の中から好みの楽器に変えることができます。楽器の選びかたは24ページを参照してください。

ソングをスタートすると、選んだ楽器でメロディが鳴ります。鍵盤を弾いたときも選んだ楽器で鳴ります。



- ・他のソングを選ぶと、メロディ音色はそのソングに設定されている楽器になります。
- ・ソング再生中にメロディ音色を変更することもできます。
- ・[楽器]ボタンを押すと、いつでもソングに設定されている楽器に戻ります。
- ・ソングで楽器を変更していない場合は、ディスプレイに「50」が表示されます。

マルチパッド機能を鳴らすには

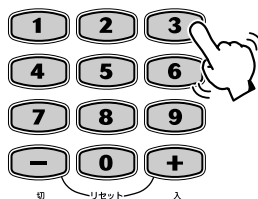
128曲のソングの中には、下図の鍵盤を弾いたときに効果音や各種フレーズなどを鳴らすことができる機能が割り当てられているものがあります。これを「マルチパッド機能」と言います。

1 マルチパッド機能対応のソングを選びます。

ソングの選びかたは24ページを参照してください。



- ・ソング番号「1~74」、「83~100」、「105~128」のソングをレッスン機能オフで再生しているときや、右手でレッスンしているとき、マルチパッドが機能します。

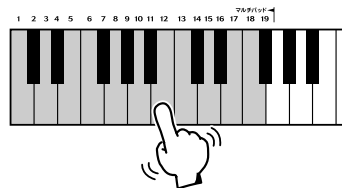
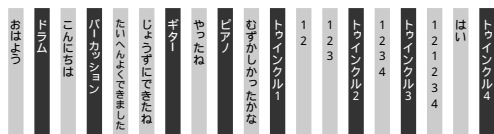


2 [スタート/ストップ]ボタンを押してソングを再生します。



3 ソング再生中にC1 ~ F#2の鍵盤を押します。

フレーズや効果音が鳴ります。

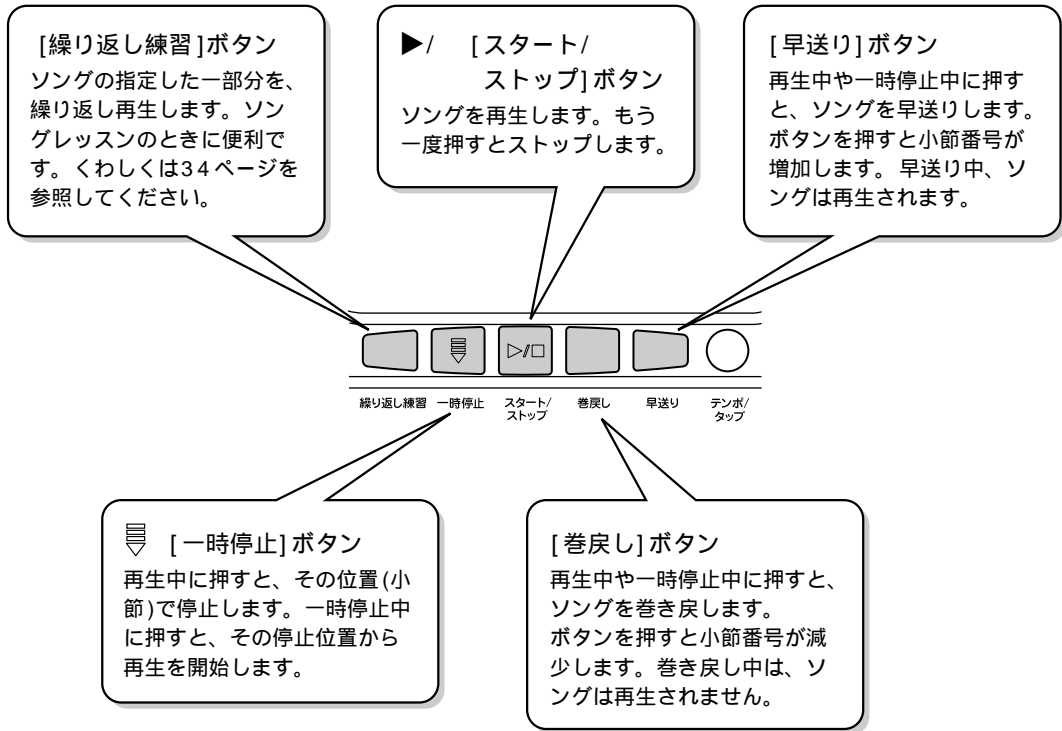


- ・マルチパッド機能として鳴るときは、どのソングでも同じ音です。
- ・ソング停止中は、マルチパッド機能は鳴りません。



## ソング再生のコントロール

EZ-J22のソングは下記のボタンを押すことにより、テープレコーダーのように操作することができます。



## タップスタート

4拍子なら4回、3拍子なら3回、弾きたいテンポで[テンポ/タップ]ボタンを押します。ボタンを押したタイミングでリズムがスタートします。



・ソングや伴奏の再生中に[テンポ/タップ]ボタンを押してテンポを変えることもできます。

# ソングレッスンをするには

タイミング、マイペース、カラオケの3つの練習方法から選んで練習をすることができます。

## レッスン1：タイミング

鍵盤を弾くタイミングを練習します。

メロディのリズムに合わせてタイミング良く鍵盤を押さえる(マルチパッド機能が鳴る鍵盤を除く)と、メロディが演奏されます。レッスン1ではどの鍵盤を弾いても(マルチパッド機能が鳴る鍵盤を除く)かまいません。

操作手順については18ページを参照してください。

## レッスン2：マイペース

音符どおりに鍵盤を弾く練習をします。

レッスン2では、正しい鍵盤が押されるまで伴奏が待ってくれます。

正しい鍵盤が押されると、次に押さえる鍵盤のライトガイドが点灯します。ディスプレイのゆびづかいガイドを見ながら自分のペースで練習できます。

操作手順については20ページを参照してください。

## レッスン3：カラオケ

ソングのテンポで音符どおりに鍵盤を弾く練習をします。

右手のレッスンでは、ソングのメロディパート以外の音が鳴ります。伴奏に合わせて自分でメロディパートを弾きます。

操作手順については22ページを参照してください。

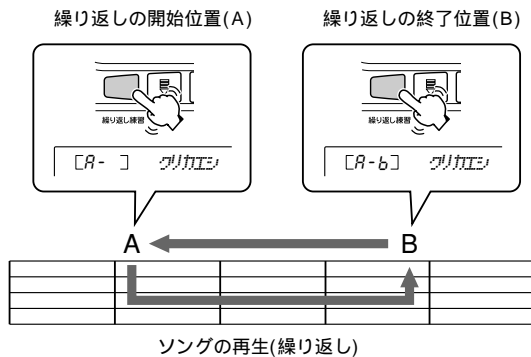


- ・ 八長調またはイ短調のソングが選ばれているときは、[ドレミ]ボタンを押すと「ドレミ」でガイドします。このとき弾く音も「ドレミ」で歌います。レッスン2(マイペース)でガイドを「ドレミ」以外にしたいとき(楽器でガイドしたいとき)は、全体設定の「ドレミガイド入/切」を「切」にします。この場合でも、弾く音は「ドレミ」で歌います。
- ・ 八長調(イ短調)以外のソングを選んでいる場合、またはトランスポーズが「0」以外に設定されている場合はオーボエの音で鳴ります。また、八長調(イ短調)のソングでも、黒鍵はオーボエの音で鳴ります。
- ・ 「ドレミ」は八長調またはイ短調(自然短音階)で歌います。

## 繰り返し練習のしかた

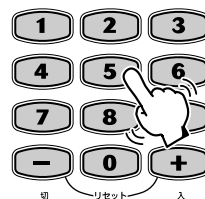
練習したいソングの一部に「A(繰り返しの始まり)」、「B(繰り返しの終わり)」のマークをつけて、その間の演奏を繰り返し再生させることができます。

繰り返し練習はどのソングレッスン(タイミング、マイペース、カラオケ)でもできます。また、通常のソングの再生でもできます。



## 1 練習したいソングを選びます。

ソングの選びかたは24ページを参照してください。



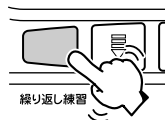
## 2 ソングを再生し、繰り返しの開始位置(A)にきたら、[繰り返し練習]ボタンを押します。

ディスプレイには「A- クリカエシ」と表示され、繰り返し開始位置Aがマークされます。



## 3 繰り返しの終了位置(B)にきたら、[繰り返し練習]ボタンを押します。

ディスプレイには「A-b クリカエシ」と表示され、繰り返しの終了位置Bがマークされます。ソングは、A-B間で繰り返し再生されます。



・A-B繰り返しは、小節単位で繰り返します。

## 4 [スタート/ストップ]ボタンを押して、ソングを停止します。

もう1度押すと、A-B繰り返しを開始します。



・停止中でも[巻戻し]/[早送り]ボタンで小節を移動すれば、A-B繰り返しは設定できます。

A-B繰り返しの設定を取り消すには

[繰り返し練習]ボタンを押すと、A-B繰り返しの設定は取り消され、ディスプレイに「OFF クリカエシ」が表示されます。A-B繰り返し再生中に[繰り返し練習]ボタンを押すと、そのまま通常の再生を続けます。



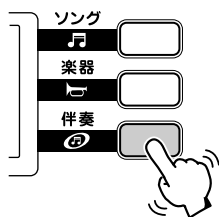
・別のソングを選ぶと、A-B繰り返しの設定は取り消されます。

[OFF] GUITAR

# 自分で伴奏とメロディを弾いてみよう

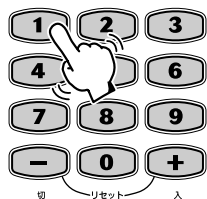
レッスン(1, 2, 3)で、メロディが弾けるようになったら、こんどは自分で伴奏を付けて弾いてみましょう。

## 1 [伴奏] ボタンを押します。



## 2 伴奏を選びます。

数字ボタン[0]~[9]、[+]、[-]を押して、伴奏を選びます。



### 伴奏リスト

伴奏番号	伴奏名
001	8ビート
002	16ビート バラード
003	ギターロック
004	スローロック
005	ダンス
006	スイング
007	ボサノバ

伴奏番号	伴奏名
008	6/8マーチ
009	マーチ
010	ワルツ
011	コンチェルト
012	ホンキートンク
013	ラグタイム
014	ストライド

伴奏番号	伴奏名
015	8ビート ピアノバラード
016	16ビート ピアノバラード
017	アルペジオ
018	トリプレット アルペジオ
019	ジャズワルツ
020	ワルツ

- ・001～010は基本的な伴奏
- ・011～020はピアノ演奏に合った伴奏

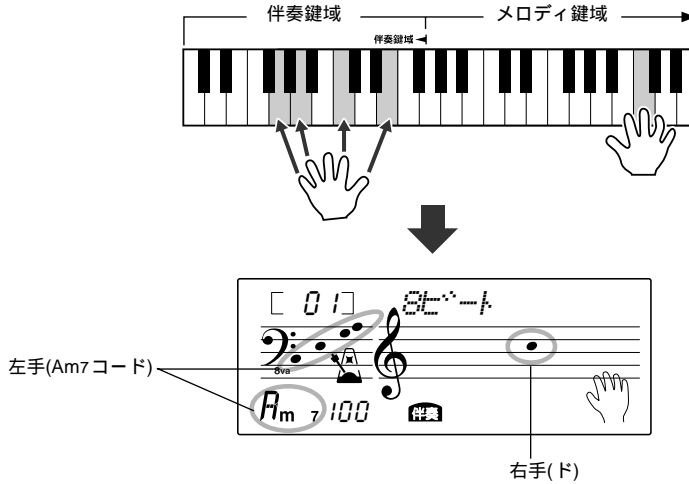
## 3 伴奏をスタートします。

左手で伴奏鍵域の鍵盤を弾くと、伴奏がスタートします。

## 4 演奏しましょう。

伴奏の弾きかたは、38 ページを参照してください。

ディスプレイには、左手で押さえたコード名とその音符、右手で押さえたメロディの音符が表示されます。



## 5 伴奏を止めるには

[スタート/ストップ]ボタンを押すと、エンディングを演奏して伴奏が止まります。



- ・ [伴奏]ボタンを押すと、エンディングを演奏しないで伴奏を止めることができます。
- ・ 伴奏が止まっている状態で、伴奏鍵域の鍵盤を押すと伴奏が再スタートします。

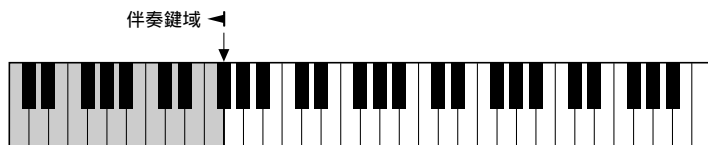
## 伴奏の弾き方

伴奏の押さえ方には、シングルフィンガーとフィンガードの2種類があります。EZ-J22は、どちらを使用してもコードを自動的に判断するマルチフィンガリングという機能を使用しています。

シングルフィンガー .....コードの簡単な押さえ方

フィンガード .....通常のコードの押さえ方

「伴奏鍵域 ←」より左の鍵盤でコードを弾いてください。



### シングルフィンガー

伴奏鍵域で、1～3本の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。

**メモ** ・ルートキー(根音)と押さえる鍵盤

#### シングルフィンガーのコードの押さえ方

**C**



・メジャー(M)コード  
ルートキー(根音)を押さえてください。

**C7**



・セブンス(7)コード  
ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。

**Cm**



・マイナー(m)コード  
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。

**Cm7**



・マイナーセブンス(m7)コード  
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。



### フィンガード

伴奏鍵域でコードを押さえると、自動的にコード名を検出し伴奏が演奏されます。

#### フィンガードで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[Cの押鍵例]

**C**



**Cm**



**Caug(7aug)**



**Cdim(dim7)**



**C7**



**Cm7**



**CM7**



**CmM7**



**C7b5**



**Cm7b5**



**C7sus4**



**C6**



**Cm6**



**C(9)**



カッコ( )で表示される鍵盤は、省略してもかまいません。

フィンガードで認識されるコード

コード	押 鍵	コード(C)	ディスプレイ表示
メジャー [M]	1 - 3 - 5	C	C
アドナインズ [(9)]	1 - 2 - 3 - 5	C(9)	C(9)
シックス [6]	1 - 3 - 5 - 6	C6	C6
メジャーセブンス [M7]	1 - 3 - (5) - 7	CM7	CM7
オーギュメント [aug]	1 - 3 - #5	Caug	Caug
マイナー [m]	1 - ♭3 - 5	Cm	Cm
マイナーシックス [m6]	1 - ♭3 - 5 - 6	Cm6	Cm6
マイナーセブンス [m7]	1 - ♭3 - (5) - ♭7	Cm7	Cm7
マイナーメジャーセブンス [mM7]	1 - ♭3 - (5) - 7	CmM7	CmM7
マイナーセブンスフラットファイブ [m7♭5]	1 - ♭3 - ♭5 - ♭7	Cm7♭5	Cm7♭5
ディミニッシュ [dim]	1 - ♭3 - ♭5	Cdim	Cdim
ディミニッシュセブンス [dim7]	1 - ♭3 - ♭5 - 6	Cdim7	Cdim7
セブンス [7]	1 - 3 - (5) - ♭7	C7	C7
セブンスフラットファイブ [7♭5]	1 - 3 - ♭5 - ♭7	C7♭5	C7♭5
セブンスオーギュメント [7aug]	1 - 3 - #5 - ♭7	C7aug	C7aug
セブンスサスフォー [7sus4]	1 - 4 - 5 - ♭7	C7sus4	C7sus4



- ・カッコ ( )内の音符は省略してもかまいません。
- ・コードは転回形も受け付けます、ただし以下を例外とします。
  - ・ min6は押された鍵盤の最低音がルート音のときだけ min6になり、その他の転回形はすべて min7♭5になります。
  - ・ 6コードは押された鍵盤の最低音がルート音のときだけ 6になり、その他の転回形はすべて min7になります。
  - ・ aug と dim7は、押された鍵盤の最低音をルート音とします。
  - ・ 7th-5 は、押された鍵盤の最低音をルート音または ♭7 とします。
  - ・ aug7は、augと同じコードになります。
  - ・ dim7は、dimと同じコードになります。
  - ・ B♭6、B6、B♭m6、Bm6は検出できません。

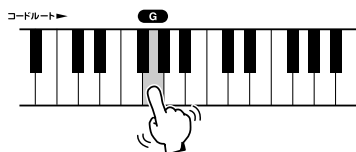
## ディクショナリーでコードを調べる

コード名がわかっていて、鍵盤の押さえ方がわからない場合、ディクショナリー機能で調べることができます。

**1** [Dict.](ディクショナリー)ボタンを押します。



**2** たとえば「GM7」の押さえ方を調べましょう。  
 鍵盤の上にかかれた「コードルート▶」の「C」～「B」の中から、「GM7」のルート音の「G」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。  
 設定されたルート音はディスプレイに表示されます。



**3** 鍵盤の上にかかれた「コードタイプ▶」から、「GM7」のコードタイプの「M7(メジャーセブンス)」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。  
 設定されたコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、ディスプレイに楽譜表示と鍵盤イラストで表示されます。



ディスプレイにしたがって、伴奏鍵域でコードを押さえてみましょう。コードを正しく押さえると、「ピンポン」と鳴り、コード名が点滅します。

[Dict.](ディクショナリー)ボタンを押すと、ディクショナリー機能から抜けます。



・メジャーコードについて  
 通常メジャーのコード名は、ルート音だけで表記します。

例：Cの表記はCメジャーを意味します。

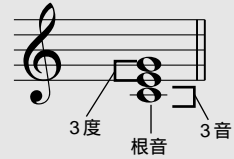
メジャーコードを調べる場合、ルート音を押して、次に「M」を押してください。



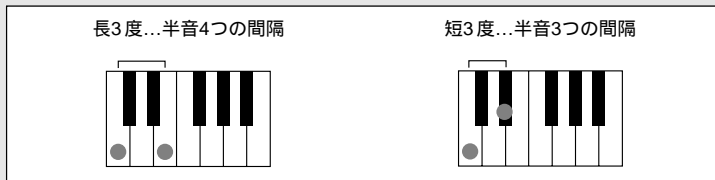
## コード(和音)について

音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

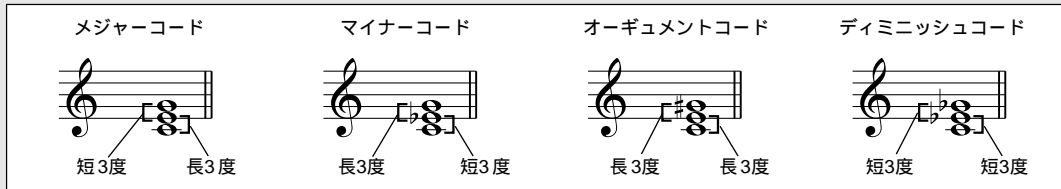
「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがします。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、确实によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。



上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。



その組み合わせは次の4種類になります。

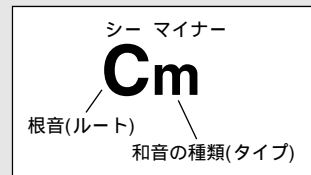


和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。

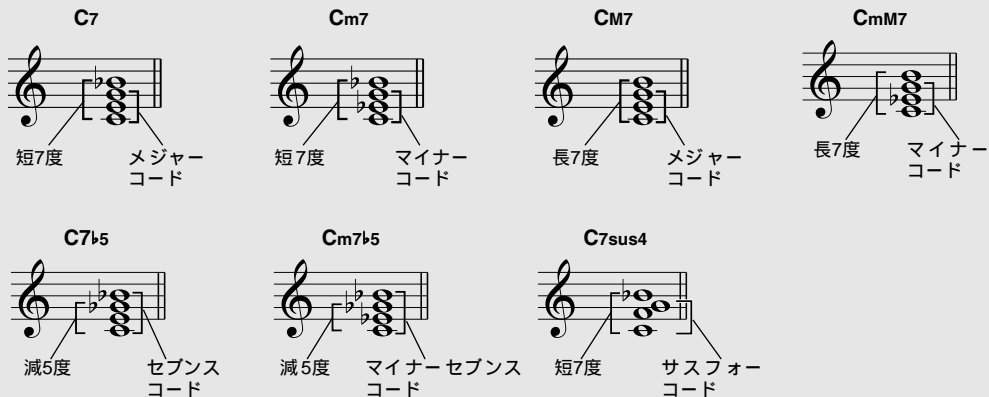
種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

### 和音の表記について

和音の構成音や、その種類を一目でわかるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみがわかると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。



和音の種類(フィンガードで認識されるものの一部)



# 全体設定

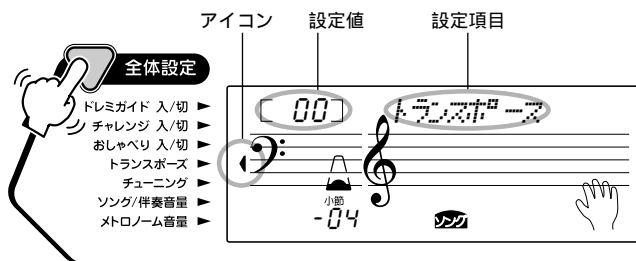
全体設定では、EZ-J22に関するさまざまな設定を行なうことができます。

## 全体設定の設定方法

各設定項目は、以下の手順で設定します。

### 1 全体設定の[ ]ボタンを押して、設定したい項目の位置にディスプレイ左端のアイコン(◀)を表示させます。

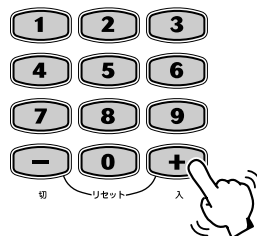
ディスプレイには現在設定されている「設定項目」とその「設定値」が表示されます。



### 2 数字ボタンや[ - ]/[ + ]ボタンを押して、好みの値に変更します。

[ - ]ボタンを押すと設定値が小さくなります。  
[ + ]ボタンを押すと設定値が大きくなります。  
押し続けると、連続して値が変化します。

入/切の設定の場合は、  
[ + ]ボタンを押すと「入」になります。  
[ - ]ボタンを押すと「切」になります。



**メモ** ・[ - ]/[ + ]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。

## ドレミガイド 入/切

レッスン2 (マイペース)を使用するとき、ガイドを「ドレミ」で歌わせるかどうかを切り替えます。ドレミガイド 入/切を「入」にすると、ガイドが「ドレミ」で歌います。



**メモ** ・黒鍵はオーボエの音で鳴ります。  
・八長調またはイ短調以外のソングは、オーボエの音で鳴ります。(どのソングが「ドレミ」で歌ってくれるかは、50ページの『ソングリスト』を参照してください。)  
・「ドレミ」は八長調またはイ短調(自然短音階)で歌います。

## チャレンジ 入/切

ソングレッスン終了時に採点結果をお知らせするかどうかを決めます。

1曲終了すると、以下のように採点結果をディスプレイと鍵盤のライトで表示します。また、おしゃべりガイドが「入」になっている場合は、音声でもお知らせします。

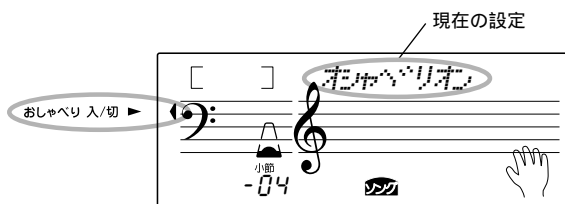


おしゃべりガイド	ディスプレイ/鍵盤表示
たいへんよくできました	
じょうずにできたね	
やったね!	
むずかしかったかな?	

## おしゃべり 入/切

おしゃべりガイドを鳴らすか鳴らさないかを決めます。

「入」のとき以下の機能を音声でガイドします。

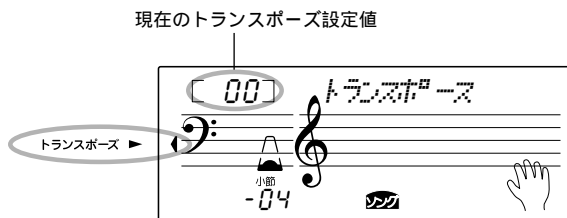


ソング/楽器/伴奏ボタン	数字ボタンで選んでね	グランドピアノ	ピアノになります
レッスン	レッスンワン レッスンツー レッスンスリー レッスンオフ	右手レッスン	右手
ディクショナリー	コードを覚えましょう	左手レッスン	左手
ドレミ	ドレミで歌います	両手レッスン	両手
おしゃべりガイド	声でガイドします	採点結果	たいへんよくできました じょうずにできたね やったね! むずかしかったかな?
ライトガイド	光でガイドします	その他	やってみよう
タッチレスポンス	強弱がつかます		

## トランスポーズ

楽器全体の音程を変更します。

- 12 ~ + 12(単位：半音)の範囲で変更できます。

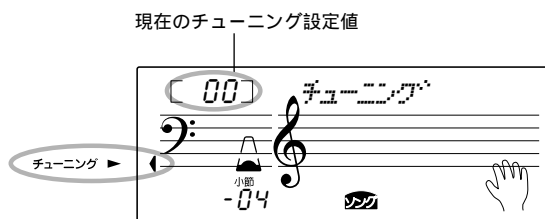


- ・ [- ]/[+ ]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。
- ・ 楽器音「100番ドラムキット」、「88番エコードラムキット」、「99番サウンドエフェクト」はトランスポーズできません。
- ・ ソング再生中のトランスポーズはできません。
- ・ トランスポーズの変更後、次に弾いた音から新しく設定したトランスポーズの音程で発音します。
- ・ 八長調またはイ短調のソングでも、トランスポーズが「0」以外に設定されている場合は、[ドレミ]ボタンが押されていても「ドレミ」でなく「オーボエ」の音が鳴ります。(表示は「098(オーボエ)」となります。)

## チューニング

楽器全体の音程の微調整(チューニング)をします。

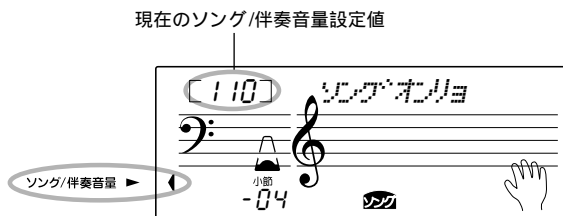
- 50 ~ + 50(単位：セント)の範囲で変更できます。



- ・ [- ]/[+ ]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。
- ・ 100セント = 半音です。
- ・ A3の音は440Hzです。

## ソング/伴奏音量の調整

ソングや伴奏の音量を変更して、鍵盤演奏とソング/伴奏との音量バランスをとります。  
音量の設定範囲は000～127です。



- ・ソング音量を調整するときは、最初に[ソング]ボタンを押してから調整してください。同様に伴奏音量を調整するときは、最初に[伴奏]ボタンを押してください。
- ・[-]/[+]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「110」に戻ります。

## メトロノーム音量の調整

メトロノームの音量を000～127の範囲で設定できます。



- ・[-]/[+]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

# MIDI(ミディ)について

EZ-J22のリアパネルには、MIDI端子(IN/OUT)が付いています。MIDI機能を活用することにより、EZ-J22の機能を拡張することができます。

伴奏モードのときだけMIDIを送受信します。

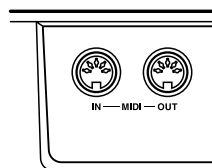
## MIDIって何?

MIDI(ミディ)とは、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし、またはコンピューターなどと、演奏情報のやり取りを行なうために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)を専用のケーブルで接続すれば、楽器(機器)間でさまざまな演奏情報の送受信ができ、より高度な演奏が可能になります。

MIDI IN 端子 ..... 他のMIDI機器からMIDI情報を受信します。  
MIDI OUT 端子 ..... EZ-J22の演奏情報をMIDI信号とし、他のMIDI機器に送信します。



- ・MIDI機器の接続には専用のMIDIケーブル(別売)が必要です。楽器店などで買い求めください。  
長いケーブルを使用すると、情報が正しく送受信できなくなる場合があります。ケーブルは15m以内のものをご使用ください。



## MIDIを使ってできること

EZ-J22の演奏(キーオン/キーオフ)をMIDIシーケンサーに録音する(下図①)

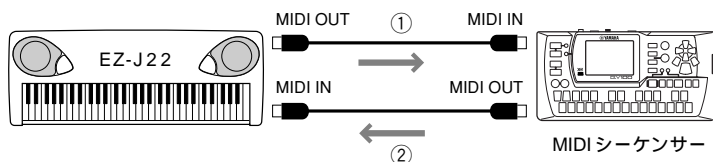
MIDIシーケンサーに録音した演奏を、EZ-J22で再生する(下図②)

EZ-J22のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)(下図①)

EZ-J22の現在のパネル設定状態を外部機器に送信します。

外部のシーケンサーなどに録音することにより、再生するときに録音したときと同じパネル設定で再生することができます。

[ソング]ボタンを押して[伴奏]ボタンを押すと、パネル設定状態のデータを送信します。演奏の前にこのボタンを押してください。



- ・EZ-J22は独自の音色配列を採用しています。EZ-J22の演奏をMIDIシーケンサーに録音した場合、再生時にもEZ-J22を利用することをおすすめします。他の音源などでは正しく再生されない場合があります。
- ・ソングモードでは、MIDIデータの送受信はできません。
- ・外部音源では、オクターブ移動して再生する場合があります。
- ・デュアル音色は外部音源でデュアルにならない場合があります。

# 伴奏リスト

伴奏番号	伴奏名	テンポ初期値 (♩=)
基本リズム		
001	8ビート	100
002	16ビート バラード	60
003	ギターロック	120
004	スローロック	72
005	ダンス	132
006	スイング	152
007	ボサノバ	132
008	6/8マーチ	120
009	マーチ	120
010	ワルツ	120

伴奏番号	伴奏名	テンポ初期値 (♩=)
ピアニスト		
011	コンチェルト	120
012	ホンキートンク	208
013	ラグタイム	84
014	ストライド	144
015	8ビート ピアノバラード	68
016	16ビート ピアノバラード	72
017	アルペジオ	92
018	トリプレット アルペジオ	86
019	ジャズワルツ	120
020	ワルツ	120

- ・001～010は基本的な伴奏
- ・011～020はピアノ演奏に合った伴奏

# 楽器音リスト

## 最大同時発音数について

EZ-J22の最大同時発音数は16音ですが、デュアル音色やスプリット音色、伴奏、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が16音ということです。したがって伴奏やソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤で演奏できる発音数は減少します。16音以上になると、新しく押さえた音を優先して発音します。

なお、EZ-J22の楽器音の中には、1つの音色の中で2音以上音を重ねて発音しているものがあります。これらの音色は1つの鍵盤で2音以上発音します。各楽器音ごとの使用発音数は、次のリストを参照してください。

(リスト内の発音数は、その楽器音の使用する最大の使用発音数を示していますが、音程によってはこれ以下の発音数になるものがあります。)



- ・MIDIを使ってEZ-J22の楽器音を鳴らす場合は、下記のプログラムチェンジナンバーを使用してください。また、必要に応じてバンクMSB/LSBを設定してください。ドラムキット以外を選ぶ場合は、「バンクMSB = 00H、LSB = 70H」に、ドラムキット(楽器音番号88, 100)を選ぶ場合は「バンクMSB = 7FH、LSB = 00H」に設定します。
- ・MIDIを使ってEZ-J22の楽器音を鳴らす場合、ハーモニーやエコー効果がつきません。

楽器音番号	プログラムチェンジNo.	楽器音名	使用発音数
ピアノ			
001	0	グランドピアノ	2
002	1	ホンキートンクピアノ	2
003	2	エレクトリックピアノ1	2
004	3	エレクトリックピアノ2	2
005	4	エレクトリックピアノ3	1
006	5	エレクトリックピアノ4	1
007	6	ハーブシコード	2
008	7	クラビ	1
009	8	チェレスタ	1
オルガン			
010	9	エレクトリックオルガン1	2
011	10	エレクトリックオルガン2	2
012	11	ウェーブオルガン	2
013	12	フルオルガン	2
014	13	アコーディオン	2
015	14	ハーモニカ	1

楽器音番号	プログラムチェンジNo.	楽器音名	使用発音数
ギター			
016	15	ソフトギター	1
017	16	フォークギター	1
018	17	12弦ギター	2
019	18	ジャズギター	1
020	19	エレクトリックギター	2
021	20	ディストーションギター	2
022	21	ウッドベース	1
023	22	フィンガーベース	1
024	23	スラップベース	1
バイオリン			
025	24	ストリングス	1
026	25	バイオリン	1
027	26	チェロ	1
028	27	ハーブ	1
029	28	シタール	1
030	29	パンジョー	1

# 楽器音リスト

楽器音番号	プログラムチェンジNo.	楽器音名	使用発音数
ピブラフォン			
031	30	ピブラフォン	1
032	31	マリンバ	1
033	32	スティールドラム	1
トランペット			
034	33	トランペット	1
035	34	トロンボーン	1
036	35	ミュートトランペット	1
037	36	フレンチホルン	1
038	37	ブラスセクション	1
039	38	アルトサクソ	1
040	39	テナーサクソ	1
041	40	オーボエ	1
042	41	クラリネット	1
043	42	フルート	1
044	43	パンフルート	1
シンセサイザー			
045	44	シックリード	2
046	45	シンブルリード	1
047	46	シックスアウトゥース	2
048	47	シンブルソウトゥース	1
049	48	シンセベース	1
050	49	シンセストリングス	1
051	50	シンセブラス	2
052	51	スローストリングス	1
053	52	コーラス	1
パリエーション			
054	53	ピアノトリオ	3
055	54	ピアノカントリー	2
056	55	エレクトリックピアノトリオ	3
057	56	ハーブシコードトリオ	3
058	57	オルガントリオ	3
059	58	ピブラフォンデュエット	2
060	59	トランペットデュエット	2
061	60	ホルンデュエット	2
062	61	クラリネットトリオ	3
063	62	フルートデュエット	2
064	63	ウッドベース/ピアノ	1
065	64	ストリングス/ピアノ	1
066	65	フィンガーベース/ エレクトリックピアノ	1
067	66	スラップベース/クラビ	1
068	67	フィンガーベース/ エレクトリックオルガン	1
069	68	フィンガーベース/ フォークギター	1
070	69	ハーブ/バイオリン	1
071	70	フレンチホルン/トランペット	1
072	71	シンセベース/ブラスセクション	1
073	72	ピアノ/フルート	1
074	73	サステインピアノ	1
075	74	サステインエレクトリックピアノ1	1
076	75	サステインエレクトリックピアノ2	1
077	76	サステインピブラフォン	1
078	77	サステインストリングス	1
079	78	エコーピアノ	1
080	79	エコーエレクトリックピアノ	1

楽器音番号	プログラムチェンジNo.	楽器音名	使用発音数
081	80	エコーハーブシコード	1
082	81	エコーチェレスタ	1
083	82	エコーフォークギター	1
084	83	エコーバンジョー	1
085	84	エコーピブラフォン	1
086	85	エコーマリンバ	1
087	86	エコースティールドラム	1
088	1	エコードラムキット	1
089	88	ピアノコンチェルト	2
090	89	エレピコンチェルト	2
091	90	フェアリーランド	2
092	91	ムードギター	2
093	92	リッチギター	2
094	93	エクセルバイオリン	2
095	94	クリスタル	2
096	95	スターシップ	2
097	96	ファリーベル	1
ドレミ(オーボエ)			
098	97	ドレミ(Ob)	1
サウンドエフェクト			
099	98	サウンドエフェクト	1
ドラムキット			
100	1	ドラムキット	1



ソングに使われている楽器音の中には、パネルからは選択できないものがあります。次のリストを参考に、MIDIを使ってプログラムチェンジナンバーをEZ-J22に送信すれば、それらの楽器音を鳴らすことができます。このとき、バンクMSB/LSBは「バンクMSB = 00H、LSB = 00H」に設定します。

プログラム チェンジNo.	楽器音名	使用発音数
0	ピアノ	1
3	ホンキートンクピアノ	2
4	エレクトリックピアノ1	1
5	エレクトリックピアノ2	1
6	ハーブシコード	1
7	クラビ	1
8	チェレスタ	1
11	ビブラフォン	1
12	マリンバ	1
16	エレクトリックオルガン1	1
17	エレクトリックオルガン2	1
19	フルオルガン	1
21	アコーディオン	1
22	ハーモニカ	1
23	ウェーブオルガン	2
24	ソフトギター	1
25	フォークギター	1
26	ジャズギター	1
27	エレクトリックギター	1
28	12弦ギター	2
29	リッチギター	2
30	ディストーションギター	1
32	ウッドベース	1
33	フィンガーベース	1
34	ミュートベース	1
36	スラップベース	1
38	シンセベース	1
40	バイオリン	1
42	チェロ	1
46	ハーブ	1
49	ストリングス	1
51	シンセストリングス	1
52	コーラス	1
56	トランペット	1
57	トロンボーン	1

プログラム チェンジNo.	楽器音名	使用発音数
59	ミュートトランペット	1
60	ホルン	1
61	ブラスセクション	2
63	シンセブラス	1
65	アルトサククス	1
66	テナーサククス	1
68	オーボエ	1
71	クラリネット	1
73	フルート	1
75	バンフルート	1
80	リード	1
81	ソウトゥース	1
88	ピアノコンチェルト	2
89	エレピコンチェルト	2
90	フェアリーランド	2
91	フェアリーベル	2
92	ムードギター	2
93	エクセルバイオリン	2
94	スターシップ	2
95	スローストリングス	1
98	クリスタル	2
104	シタール	1
105	バンジョー	1
114	スチールドラム	1
117	サウンドエフェクト	1
118	ウッドベース/ピアノ	1
119	ストリングス/ピアノ	1
120	ベース/エレピ	1
121	スラップベース/クラビ	1
122	フィンガーベース/オルガン	1
123	フィンガーベース/フォークギター	1
124	ハーブ/バイオリン	1
125	フレンチホルン/トランペット	1
126	シンセベース/ブラス	1
127	ピアノ/フルート	1

# ソングリスト

ソング番号	ソング名	マルチパッド 対応ソング	ドレミ 対応ソング
お気に入り			
001	慎吾ママのおはロック		*
002	おジャ魔女でBAN <sup>2</sup>		*
003	ハム太郎ととここうた		*
004	さんぽ		*
005	アイアイ		*
006	明日があるさ		*
007	SEASONS		*
008	箱根八里の半次郎		*
009	オブラディ・オブラダ		*
010	戦場のメリー・クリスマス		*
アニメ/どうよう			
011	ドラえもののうた		*
012	アンパンマンのマーチ		*
013	となりのトトロ		*
014	サザエさん		*
015	おどるボンポコリン		*
016	ウルトラマンダイナ		*
017	仮面ライダー AGITO		*
018	めざせポケモンマスター		*
019	The Biggest Dreamer		*
020	キミがいれば		*
021	黙って俺についてこい		*
022	詠人		*
023	ミッキー・マウス・マーチ		*
024	小さな世界		*
025	星に願いを		*
026	コブタヌキツネコ		*
027	もりのくまさん		*
028	やぎさんゆうびん		*
029	げんこつやまのたぬきさん		*
030	どんないろがすき		*
031	あめふりくまのこ		*
032	パンダうさぎコアラ		*
033	にじのむこうに		*
034	ザッちゃん		*
035	ぼくのミックスジュース		*
おめでどう！			
036	ハッピー・バースディ・トゥ・ユー		*
037	お正月		*
038	おもいでのアラバム		*
039	蛍の光		*
040	こいのぼり		*
041	ジングル・ベル		*
042	きよしこの夜		*
ポップス			
043	ミニモニ。ジャンケンぴょん！		*
044	らいおんハート		*
045	fragile		*
046	さよなら大好きな人		*
047	恋愛レボリューション21		*
048	Reach for the sky		*
049	Everything		*
050	TSUNAMI		*
051	First Love		*
052	フラワー		*
053	桜坂		*
054	未来予想図II		*
055	energy flow		*
056	トップ・オブ・ザ・ワールド		*
057	S.O.S.		*
058	イエスタデイ		*
059	レット・イット・ビー		*
演歌/懐メロ			
060	川の流れるように		*
061	孫		*
062	昴		*
063	荒城の月		*

ソング番号	ソング名	マルチパッド 対応ソング	ドレミ 対応ソング
064	早春賦		*
065	浜辺のうた		*
066	ちいさい秋みつけた		*
067	赤とんぼ		*
068	故郷		*
069	旅愁		*
070	マイ・ウェイ		*
071	エデンの東		*
072	オー・シャンゼリゼ		*
073	ムーン・リバー		*
074	追憶		*
ピアノ曲			
075	エリーゼのために		*
076	パッサリのメヌエット		*
077	モーツァルトのトルコ行進曲		*
078	ベートーベンのトルコ行進曲		*
079	小犬のワルツ		*
080	別れの曲		*
クラシック/世界の曲			
081	主よ、人の望みの喜びよ		*
082	よるこびのうた		*
083	ゴセックのガボット		*
084	楽しい農夫		*
085	パッサリのボロネーズ		*
086	パッヘルベルのカノン		*
087	野ばら		*
088	トロイメライ		*
089	新世界より		*
090	春の歌		*
091	愛の夢 第3番		*
092	花の歌		*
093	花のワルツ(くるみ割り人形より)		*
094	G線上のアリア		*
095	ます		*
096	行進曲(くるみ割り人形より)		*
097	ユーモレスク		*
098	シューベルトのアヴェ・マリア		*
099	シューベルトの子守歌		*
100	ブラームスの子守歌		*
101	きらきら星		*
102	大きな古時計		*
103	夢見る君		*
104	グリーンスリーブス		*
105	オーラ・リー		*
106	ケンタッキーのわが家		*
107	アロハ・オエ		*
108	ローレライ		*
109	ロンドンデリーの歌		*
110	テキサスの黄色いバラ		*
111	ロンドン橋		*
112	故郷の人々		*
113	かわいいうーガスティン		*
114	愛しのクレメンティン		*
115	おお、スザンナ		*
116	線路は続くよどこまでも		*
117	マイ・ボニー		*
118	アルプス一万尺		*
119	わらの中の七面鳥		*
120	むすんでひらいて		*
121	かっこう		*
122	リパブリック讃歌		*
123	草競馬		*
124	愛のロマンス		*
125	アメリカン・パトロール		*
126	茶色の小瓶		*
127	エンターティナー		*
128	聖者の行進		*

\* 印のソングは、八長調またはイ短調で歌うドレミ(ガイド)が機能します。  
 \* マルチパッド対応ソングは、左手レッスンのときコードをガイドします。その他のソングは、左手もメロディのソングです。

# 故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
音が出ない。	PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力)端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
	ディクショナリーになっています。	[Dict.](ディクショナリー)ボタンを押してください。(40ページ)
音が歪んだり、突然出なくなったりする。電源を入れたときの状態に戻る。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
[電源切/入]スイッチを「入」にしたときに、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
EZ-J22から雑音が出る。	EZ-J22の近くで携帯電話を使っています。(または呼び出し音が鳴っています)。	EZ-J22の近くでは携帯電話の電源を切ってください。 EZ-J22の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
「ドレミ」で歌わない。	[ドレミ]ボタンを押していません。	[ドレミ]ボタンを押してください。
	黒鍵は「ドレミ」で歌いません。	故障ではありません。
	八長調またはイ短調以外のソングを選んでいきます。	ドレミ対応ソングを選んでください。(50ページ)
	トランスポーズがゼロ(0)以外になっています。	故障ではありません。 トランスポーズをゼロ(0)に設定してください。(44ページ)
全体設定の「ドレミガイド 入/切」が「切」になっています。	「ドレミガイド 入/切」を「入」にしてください。	
同時に押さえた鍵盤の音全部鳴らない。	発音数には制限があります。	EZ-J22の最大同時発音数は16です。自動伴奏やソングの演奏なども含めて最大16音の範囲で鳴らすことができます。(47ページ)
押さえる鍵盤によって音質や音量が異なる。	楽器音によっては、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵域をいくつかに分けて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方法で作られたものがあります。それらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。
ソングが途中で止まる。	マイペース機能が働いています。	マイペースをオフにしてください。(21ページ)
ソングのメロディが聞こえない。	カラオケ機能が働いています。	カラオケをオフにしてください。(23ページ)
伴奏鍵盤で、押さえた鍵盤とディスプレイやライトガイドに表示される鍵盤が合わない。	ディスプレイやライトガイドには、認識されたコードの情報が表示されます。	故障ではありません。 認識されたコードは、常にフィンガードで押さえた場合のコードを表示します。(38ページ)
[スタート/ストップ]ボタンを押しても伴奏が止まらない。	エンディングのフレーズを演奏してから止まります。	すぐに止めたい場合は、[伴奏]ボタンを押してください。

# MIDIインプリメンテーションチャート

[ポータブルキーボード]  
Model: EZ-J22

## MIDIインプリメンテーションチャート

Date: 2001.6.1  
Version: 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON 設定可能 x	1 ~ 7, 10チャンネル x	
モード	電源ON メッセージ 代用 x *****	モード3 x x	
ノート ナンバー	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ 0 9nH, v=1 ~ 127 x 9nH, v=0	1 0 9nH, v=1 ~ 127 x 9nH, v=0 or 8nH	
アフター タッチ	x x	x x	
ピッチベンダー	x	x	
コントロール	0, 32 7 10 6, 38 64 71 ~ 74 84 91, 93, 94 96 97 98, 99 100, 101	2 0 0 0 x 0 x 0 x x x x x x x x	バンクセレクトLSB, MSB ポリューム パン データエントリー サステイン  ポルタメントコントロール  RPN データ インクリメント RPN データ デクリメント NRPN LSB, MSB RPN LSB, MSB

プログラム チェンジ	設定可能範囲	0 0 ~ 127 *****	3	0 0 ~ 127	3	3
エクスクルーシブ		0		0	4	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	x x x		x x x		
リアル	クロック コマンド	x x		x x		
その他	オールサウンドオフ リセット オールコントロールローラー ローカルON/OFF オールノートオフ アクティベーション リセット	x x x x x o x		x x x x o x		

o: あり  
x: なし

モード 1: オムニ オン、ポリ  
モード 3: オムニ オフ、ポリ  
モード 2: オムニ オン、モノ  
モード 4: オムニ オフ、モノ

1 送信するペロシティの値(音量の値)は、鍵盤を弾く強さが同じでも、選択されている楽器音によって異なります。

2 バンクセレクト

- ・ ドラムキット以外するとき  
MSB = 00H, LSB = 70H
- ・ ドラムキットのとき  
MSB = 7FH, LSB = 00H

3 プログラムチェンジ

- ・ プログラムチェンジを受信しても、本体パネルで選ばれている楽器音(LCD 表示も)は変わりません。
- ・ プログラムチェンジの値は楽器音リストを参考にしてください。

4 エクスクルーシブ

- <GMシステムオン>  
F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
- ・ すべてのデータの設定値を初期設定値に戻します。

伴奏モード以外では、一切のMIDIメッセージの送受信が行われません。

# 仕様

キーボード	レギュラーサイズ61鍵 C1～C6：タッチレスボンス付	
楽器音	AWM100音色(最大同時発音数16)	
ソング	128曲	
ソングレッスン機能	1 タイミング、2 マイペース、3 カラオケ	
マルチパッド機能	19音色(C1～F#2)	
コントロール	[全体音量]コントロール、[電源切/入]スイッチ、[グランドピアノ]ボタン、 [メトロノーム]ボタン、[タッチレスボンス入/切]ボタン、 [繰り返し練習]ボタン、[一時停止]ボタン、[スタート/ストップ]ボタン、 [巻戻し]ボタン、[早送り]ボタン、[テンポ/タップ]ボタン、 全体設定[ ]ボタン、[ソング]ボタン、[楽器]ボタン、[伴奏]ボタン、 [Dict.](ディクショナリー)ボタン、ソングレッスン[L],[R]ボタン、 数字[0]～[9],[+],[ - ]ボタン、[1 タイミング]ボタン、 [2 マイペース]ボタン、[3 カラオケ]ボタン、[ドレミ]ボタン、 [ライトガイド入/切]ボタン、[デモ演奏]ボタン	
リアパネル端子	電源アダプター(DC IN 12V)端子、 ヘッドフォン/外部出力(PHONES/OUTPUT)端子、 サステイン(SUSTAIN)端子、MIDI IN/OUT 端子	
アンプ実用 最大出力	電源アダプター PA-3B使用時	2.4 W + 2.4 W
	乾電池使用時	1.8 W + 1.8 W
PHONES/OUTPUT出力インピーダンス	100 ± 5 %	
スピーカー	12 cm × 2 (ステレオ)	
電源	アダプター：PA-3B 電池：単1乾電池(1.5V) × 6	
電池持続時間(マンガン電池使用時)	マンガン電池で約11.5時間 (デモ演奏連続使用：全体音量コントロールの位置 = 最大の70%)	
消費電力(電源アダプター PA-3B使用時)	16.5 W	
寸法(幅×奥×高mm)	931 × 349 × 128	
質量(kg)	5.2	
付属品	電源アダプター PA-3B、譜面立て、取扱説明書、ソングブック、保証書	

仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

## オプション(別売り)商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150	¥4,000	MIDIケーブル	MIDI-03(3m)	¥1,100
	HPE-3	¥3,000			
キーボードスタンド	L-2L	¥4,000	ソフトケース	SCC-32	¥6,000
	L-2C	¥6,000		SCC-36	¥8,000
フットスイッチ	FC4	¥3,000			
	FC5	¥1,500			

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

# さくいん

## A

AWM.....26

## M

MIDI.....46

MIDIインプリメンテーション  
チャート.....52

MIDI端子.....9, 46

## I

一時停止.....33

イニシャルセンド.....46

## E

エコー.....27

演奏の準備.....8

## O

おしゃべり入/切.....43

オプション商品.....54

おんぶガイド.....11, 17

音量の調節.....9

## K

外部出力端子.....8

各部の名称.....10

楽器ボタン.....13

カラオケ.....22

乾電池.....8

## K

グランドピアノ.....29

繰り返し練習.....33, 34

## K

コード表示.....11

故障かな?と思ったら.....51

## S

最大同時発音数.....47

サウンドエフェクト.....27

サステイン.....27

サステイン端子.....9

## S

仕様.....54

小節表示.....11

シングルフィンガー.....38

## S

数字表示.....11

数字ボタン.....24

スタート.....33

ストップ.....33

スプリット.....27

## S

全体音量コントロール.....9

全体設定.....42

## S

ソング.....31

ソング/伴奏音量.....45

ソングボタン.....24, 31

ソングレッスン.....16, 34

## T

タイミング.....18

タッチ感度.....30

タッチレスボンス.....30

タップ.....29, 33

## T

チャレンジ入/切.....43

チューニング.....44

## T

ディクショナリー.....40

デモ演奏.....31

デュアル.....27

電源アダプター.....8

電源を入れる.....9

テンポ.....11, 29

## T

ドラムキット.....27

トランスポーズ.....44

ドレミガイド入/切.....42

ドレミ(八長調、イ短調で歌う).....26

## H

ハーモニー.....27

早送り.....33

伴奏.....36

伴奏鍵域.....37

伴奏ボタン.....24, 36

## H

拍子.....28

## F

フィンガード.....38

フットスイッチ.....9

譜面立て.....9

プログラムチェンジナンバー.....47

## H

ヘッドフォン.....8

## H

保証とアフターサービス.....56

## M

マイペース.....20

巻戻し.....33

マルチパッド機能.....32

## M

右手/左手/両手ガイド.....11, 17, 19

## M

メトロノーム.....11, 28

メトロノーム音量.....45

## M

モード表示.....24

文字表示.....11

## Y

ゆびづかいガイド.....11, 17

## R

ライトガイド入/切.....12, 25

## R

レッスン.....12

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

## 保証書

本機には保証書がついています。  
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## 消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

## 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

## 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスステーション	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] CSセンター	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-1158

## ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-5272

受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

## EM営業統括部

営業推進課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5476
北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022) 222-6147
名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-1-8-28	TEL (052) 201-5199
大阪営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2130

## PA・DMI事業部

EKB営業部 国内営業課	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL (053) 460-3275
--------------	-----------	---------------	--------------------

住所および電話番号は変更になる場合があります。

## インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・PK CLUB(ポータブル楽器ホームページ) <http://www.yamaha.co.jp/product/pk/index.html>
- ・ヤマハマニュアルライブラリー <http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」  
ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com>